

平成 29 年度 行政評価報告書

平成 29 年 7 月 前橋市役所政策部政策推進課

目 次

1 総論

（１）趣旨・目的 P1

（２）行政評価の概要 P1

（３）対象事業一覧 P2

2 行政評価

後期実施計画（主要事業）の進捗状況一覧 P6

1 総論

(1) 趣旨・目的

超高齢社会と人口減少社会が現実のものとなり、多様化・高度化する行政課題への的確な対応が迫られています。国が、2060 年に 1 億人程度の人口を確保するという目標を掲げ、国を挙げて地方創生の取組を進めている中、本市としても平成 27 年度に策定した前橋版人口ビジョン及び前橋版総合戦略に基づき、これまでにない危機感と当事者意識を持って、地方創生に取り組んでいます。

本市では、平成 25 年度を初年度とし平成 29 年度を目標年度とする「第六次前橋市総合計画改訂版」を策定し、目指すべき将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現に向け、市民とともに様々な取組を進めてきました。

行政評価とは、行政活動を一定の目的・基準・視点によって評価し、その結果を改善に結びつける手法です。

今後も、限りある財源を有効に活用しながら、行政サービスの質を向上させていくためには、「事業を計画(PLAN)」し、「その事業にどれだけ予算をつけ、どれだけ事業を実施したのか(DO)」に加え、「事業を振り返って評価(CHECK)」し、「その結果を次年度の予算編成や事業執行に反映する(ACTION)」という、いわゆる PDCA サイクルを確立することが不可欠であり、行政評価はその一翼を担います。

(2) 行政評価の概要

本市では、第六次前橋市総合計画改訂版の進行管理を目的として、行政評価を実施しています。後期実施計画に位置づけられた各事業の課題や問題点を把握しつつ、解決や改善を図るための取組です。

今年度は、担当課からの平成 28 年度の実績と自己評価結果の報告を基に政策推進課にて進捗状況の確認を行うことにより、行政評価を実施しました。

なお、評価結果については、次年度の予算編成や第七次総合計画策定に向けた基礎資料として活用します。

(3) 対象事業一覧

No.	事務事業名	進 捗 状 況	担当部	主担当課
1	計画的な土地利用の推進	A	都市計画部	都市計画課
2	都心核の形成	A	都市計画部	市街地整備課
3	地域核・地域拠点の整備	A	都市計画部	市街地整備課
4	土地区画整理事業（市施行）の推進	B	都市計画部	区画整理課
5	土地区画整理事業（組合施行）の支援・促進	A	都市計画部	区画整理課
6	市営住宅の維持管理と有効活用	A	建設部	建築住宅課
7	定住促進の強化	A	建設部	建築住宅課
8	景観の保全と創出	C	都市計画部	都市計画課
9	国・県等連携事業の促進	C	都市計画部	都市計画課
10	幹線道路等の整備	A	建設部	道路建設課
11	道路・橋りょうの維持補修	A	建設部	道路管理課
12	鉄道の活性化	A	政策部	交通政策課
13	バス交通網の維持活性化	A	政策部	交通政策課
14	水道施設の整備	A	水道局	水道整備課
15	公共下水道の整備	A	水道局	下水道整備課
16	水質浄化、処理施設の維持・更新	A	水道局	下水道施設課
17	自主防災の支援	B	総務部	危機管理室
18	災害対策の強化	A	総務部	危機管理室
19	防災体制の充実	A	総務部	危機管理室
20	自主防犯の支援	A	総務部	危機管理室
21	消防施設・設備の充実	A	消防局	総務課
22	救助・救急・消火体制の強化	A	消防局	警防課
23	交通安全対策の充実	A	政策部	交通政策課
24	公園・緑地の整備	A	建設部	公園緑地課
25	森林整備及び有害鳥獣対策の推進	A	農政部	農林課
26	環境学習の拠点施設整備・活用	B	環境部	清掃施設課
27	事業者に対する環境配慮意識の啓発	A	環境部	環境政策課
28	ごみの発生抑制の促進	B	環境部	ごみ減量課
29	ごみの再利用・再生利用の促進	B	環境部	ごみ減量課
30	事業所ごみの減量	A	環境部	ごみ減量課
31	ごみ処理施設の整備・充実	A	環境部	清掃施設整備室
32	CO ₂ 削減の推進	B	環境部	環境政策課
33	エネルギーと資源の有効活用	A	環境部	清掃施設課
34	新エネルギーの導入促進	A	環境部	環境政策課
35	次世代技術の導入促進	B	環境部	環境政策課

36	健康づくりの推進	A	健康部	健康増進課
37	疾病予防の充実	A	健康部	健康増進課
38	地域医療環境の充実	A	健康部	保健総務課
39	救急医療体制の充実	A	健康部	保健総務課
40	国民健康保険制度の適正な運営	A	健康部	国民健康保険課
41	感染症対策の充実	A	健康部	保健予防課
42	親子の健康増進	A	福祉部	子育て支援課
43	地域における多様な子育て支援	A	福祉部	子育て施設課
44	保育サービスの充実	A	福祉部	子育て施設課
45	保育所（園）・幼稚園環境の整備	A	福祉部	子育て施設課
46	児童の健全育成	A	福祉部	子育て施設課
47	出合いの機会の応援	A	政策部	政策推進課
48	児童虐待防止対策の充実	A	福祉部	子育て支援課
49	社会参加の促進	A	福祉部	介護高齢課
50	介護予防事業の推進	A	福祉部	介護高齢課
51	包括的支援の充実	A	福祉部	介護高齢課
52	地域包括ケアシステムの構築	A	福祉部	介護高齢課
53	介護保険給付対象サービスの充実	A	福祉部	介護高齢課
54	自立支援給付サービスの充実	A	福祉部	障害福祉課
55	障害者の就労支援	A	福祉部	障害福祉課
56	生活支援サービスの充実	A	福祉部	障害福祉課
57	相談支援体制の充実	A	福祉部	障害福祉課
58	地域福祉活動の活性化	A	福祉部	社会福祉課
59	要保護世帯への支援	A	福祉部	社会福祉課
60	中小企業振興の基盤づくり	A	産業経済部	産業政策課
61	新製品・新技術の開発支援	A	産業経済部	産業政策課
62	産学官連携の推進	A	産業経済部	産業政策課
63	企業誘致の促進	A	産業経済部	産業政策課
64	創業支援の充実	A	産業経済部	産業政策課
65	新しい事業活動への支援	A	産業経済部	にぎわい商業課
66	就労支援	C	産業経済部	産業政策課
67	中心商店街の魅力向上	A	産業経済部	にぎわい商業課
68	利便性と回遊性の向上	A	産業経済部	にぎわい商業課
69	街なか活性化に向けた仕組みづくり	A	産業経済部	にぎわい商業課
70	街なか文化の充実と発信	A	産業経済部	にぎわい商業課
71	6次産業化の推進	A	農政部	農林課
72	農畜産物のブランド化推進	A	農政部	農林課
73	新しい農業の推進	A	農政部	農林課
74	農畜産物の販路拡大	A	農政部	農林課

75	地産地消の推進	A	農政部	農林課
76	新規就農者及び農業後継者等の支援	A	農業委員会事務局	
77	農用地利用集積の推進	A	農業委員会事務局	
78	遊休農地の有効活用	A	農業委員会事務局	
79	優良農地の整備	A	農政部	農村整備課
80	赤城山観光の充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
81	都市観光の充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
82	前橋観光の積極的なPR	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
83	観光施設・観光情報の充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
84	ホスピタリティの充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
85	地域特性を活かした食によるまちづくり	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
86	前橋ブランドの販売促進	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
87	地域課題に対応した社会教育の充実	A	教育委員会事務局	生涯学習課
88	生涯学習施設の充実	A	教育委員会事務局	生涯学習課
89	資料・情報の提供と調査・相談機能の充実	A	教育委員会事務局	図書館
90	図書館施設の充実	A	教育委員会事務局	図書館
91	地域における青少年健全育成活動の推進	A	教育委員会事務局	青少年課
92	非行防止・被害防止活動の充実	A	教育委員会事務局	青少年課
93	児童文化センターの活用と機能充実	A	教育委員会事務局	青少年課
94	学校経営の改善・充実	A	教育委員会事務局	学校教育課
95	安全で安心な学校（園）施設整備の推進	A	教育委員会事務局	教育施設課
96	地域との連携・人材活用	A	教育委員会事務局	学校教育課
97	基礎・基本の確実な定着	A	教育委員会事務局	学校教育課
98	不登校・いじめ対策の充実	A	教育委員会事務局	青少年課
99	特別支援教育の推進	A	教育委員会事務局	学校教育課
100	現代の教育ニーズに応じた多様な教育の推進	A	教育委員会事務局	学校教育課
101	高等教育機関の活用推進	A	政策部	政策推進課
102	生涯スポーツの普及・振興	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
103	スポーツ施設整備	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
104	スポーツ大会開催支援	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
105	地域貢献プロスポーツの支援	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
106	アーツ前橋の運営	A	文化スポーツ観光部	文化国際課
107	芸術文化事業の推進	A	文化スポーツ観光部	文化国際課
108	萩原朔太郎を核とした芸術文化の推進	A	文化スポーツ観光部	文化国際課
109	歴史学習施設の充実	A	教育委員会事務局	文化財保護課
110	重要史跡の保存	B	教育委員会事務局	文化財保護課
111	地域づくり活動の促進	B	市民部	生活課
112	活力ある市民活動の促進	A	市民部	生活課
113	市政情報の積極的な発信	A	政策部	市政発信課

114	市民の声の的確な把握	A	政策部	市政発信課
115	男女共同参画の推進	A	市民部	生活課
116	業務改善・改革の推進	A	総務部	行政管理課
117	民間活力を活用した行政活動の促進	A	総務部	行政管理課
118	信頼される市役所づくり	A	総務部	職員課
119	公共施設管理の合理化・効率化	A	財務部	資産経営課
120	市有財産の有効活用	A	財務部	資産経営課
121	安定的な財源確保	A	財務部	収納課
122	トップマネジメント機能の強化	A	政策部	政策推進課
123	周辺都市との連携強化	A	政策部	政策推進課
124	行政手続きの電子化推進	A	政策部	情報政策課
125	I C Tを活用した改革の推進	A	政策部	情報政策課

後期実施計画（主要事業）の進捗状況一覧

A 概ね順調に進んでいる	・目標達成に向け順調に推移している	90.4% （ 113 事業 ）
B 少し遅れている	・目標達成に向け、取組方針の見直しや改善が求められる ・貢献度の小さい個別事業について、有効性を上げるための検討が必要	7.2% （ 9 事業 ）
C 遅れている	・目標達成に向かっていないため、指標や手段の再検討が必要 ・実績が上がっていない個別事業の廃止を含めた抜本的見直しが必要	2.4% （ 3 事業 ）
計		100% （ 125 事業 ）

No	1	大綱 I 政策 O1 施策 O1 事業 O1 担当課 都市計画課 主要 O 一般														
事業名		計画的な土地利用の推進				目的 (目標)		超高齢社会や人口減社会が進展する中、地域の活力や集落のコミュニティを維持・向上し、持続可能なまちづくりを進めるため、合理的で適正な土地利用を推進します。また社会経済情勢の大きな変化に合わせ、地域の特性や実状を考慮しながら効率的で秩序ある市街地の形成を図ります。								
計画上の測定指標		—				目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
		○		A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)								
				B 少し遅れている				・富士見都市計画区域の前橋勢多都市計画区域への統合について、平成28年度に実施した都市計画基礎調査を基に、都市計画区域の拡大エリアの検討を含めた事前準備に着手している。 ・今後は、平成32年夏頃の群馬県による第8回都市計画定期見直しに合わせて都市計画決定となるよう事務手続きを進めていきたい。								
				C 遅れている												

No	2	大綱 I 政策 O1 施策 O1 事業 O2 担当課 市街地整備課 主要 O 一般													
事業名		都心核の形成			目的 (目標)		中心市街地エリアの魅力づくりと来街者の回遊性向上のため、快適な都市空間の創出に向けた基盤整備等について実施・検討します。								
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・市街地総合再生計画に基づく民間再開発事業を促進し、新たな地区の事業化を図った。また、立地適正化計画の策定に向けて、庁内検討会及び外部協議会で都市機能誘導区域に関する検討事項を概ね確定した。 ・今後は、民間再開発事業を促進し、都市機能を適切に誘導することで、魅力ある都心核の形成を推進していきたい。									
			B 少し遅れている												
			C 遅れている												

No	3	大綱 I 政策 O1 施策 O1 事業 O3 担当課 市街地整備課 主要 O 一般												
事業名		地域核・地域拠点の整備		目的 (目標)	多様な都市機能と交通利便性の高い鉄道駅を活かしたまちづくりを進めるため、駅周辺の整備を推進するとともに、周辺地域の発展を図ります。									
計画上の 測定指標	低未利用地面積の低減			目標値 (H29)	19.0 %	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							17.4	17.2	16.9	16.0				
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・地域核である新前橋駅周辺の区画整理は着実に進み、低未利用地面積も順調に低減している。 ・群馬総社駅周辺についても、地域拠点として周辺地域の発展に寄与するまちづくりを推進していきたい。									
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	4	大綱													I	政策	O1	施策	O2	事業	O1	担当課	区画整理課					主要	O	一般
事業名		土地区画整理事業（市施行）の推進										目的（目標）		暮らしやすい環境づくりのため、道路や公園等の公共施設の整備改善及び宅地利用の増進を図るとともに、都市防災に強い安全安心な市街地整備を推進します。																
計画上の測定指標		土地区画整理事業による市街地整備率（市施行）										目標値（H29）		79.0 %		実績値の推移		H25		H26		H27		H28		H29				
																71.6		71.6		71.6		71.8								
進捗状況と今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																												
		A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性)																		
												・国からの交付金（社資交）の内示率が年々下がっており（H26:40%・H27:30%・H28:25%・H29:25%）、それと並行して、市の単独費も財源不足から減っている状況にあり、計画の期間延伸を余儀なくされている。 ・今後は、より交付金の配分を受けやすい立地適正化計画等との連携を模索するとともに、選択と集中による事業終盤地区の換地処分(事業終了)を早期に迎えることで保留地処分金等の歳入増の見直しをするなど、財源確保に努め、遅れている事業進捗を少しでも前に進めたい。																		
																						B 少し遅れている								
C 遅れている																														

No	5	大綱													I	政策	O1	施策	O2	事業	O2	担当課	区画整理事業			主要	O	一般
事業名		土地区画整理事業 (組合施行)の支援・促進					目的 (目標)		組合等が施行する土地区画整理事業の円滑な実施を支援するため、整備費を助成し、健全な市街地の形成、公共の福祉の増進を図ります。																			
計画上の 測定指標	土地区画整理事業 (組合等施行)の進捗率					目標値 (H29)	487.0 ha	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29															
									467.5	467.5	467.5	487.0	－															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・H28年度に換地処分(事業完了)を迎え、当該組合も解散となった。																					
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	6	大綱													I	政策	O1	施策	O3	事業	O2	担当課	建築住宅課	主要	O	一般
事業名		市営住宅の維持管理と有効活用					目的 (目標)		良好な住環境の形成を図るため、老朽化した市営住宅の建替えや用途廃止を推進します。また、適切な維持管理を行い市営住宅の長寿命化を図ります。																	
計画上の 測定指標	市営住宅管理戸数等					目標値 (H29)	5,394 戸		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										5,508	5,444	5,444	5,404													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																			
		B 少し遅れている					・老朽化市営住宅の建替え事業を通して、目標値に向けて計画的な事業進捗が図られている。																			
		C 遅れている					・国庫補助の交付率が低下している中で、今後予定されている住み替えに係る移転補償等について適切な財源確保を行っていきたい。																			

No	7	大綱		I	政策	O1	施策	O3	事業	O3	担当課	建築住宅課	主要	O	一般
事業名		定住促進の強化			目的 (目標)		定住人口を維持、確保していくため、ライフスタイルの変化に合わせた適切な住まいを確保できるよう、市・県・関係団体が連携して適切な情報提供や定住を促進するための居住施策を検討・実施します。								
計画上の 測定指標	—				目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・県内各市町村ともに居住支援ネットワークを構築し、情報提供に努めている。 ・空き家をキーワードとした定住促進に繋がる施策を展開しながら、今後も更に充実していきたい。									
		B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	8	大綱														I	政策	O1	施策	O4	事業	O1	担当課	都市計画課	主要	O	一般
事業名		景観の保全と創出						目的 (目標)		本市には、赤城山に代表される美しい自然的景観や、風格ある歴史的建造物・文化遺産など、数多くの地域資源が残されています。このような豊かな自然と、ゆとりと潤いにあふれる景観を守り創るため、市民・事業者・行政が一体となって景観づくりを推進します。																	
計画上の 測定指標	景観重要建造物の指定箇所数						目標値 (H29)	5	箇所	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
											0	0	0	0													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
	A 概ね順調に進んでいる						(理由、今後の方向性)																				
	B 少し遅れている						・景観重要建造物に係る候補物件においては、平成27年度までに調査を完了する予定だったが、厳しい財政状況等を踏まえて平成27年度及び平成28年度の2カ年間で実施することになったため、遅延している。 ・今後は、候補建造物の所有者への意向確認を進めるとともに、景観審議会で意見聴取を経て、速やかに景観重要建造物の指定を行っていきたい。																				
	C 遅れている																										

No	9	大綱													I	政策	O2	施策	O1	事業	O1	担当課	都市計画課	主要	O	一般
事業名		国・県等連携事業の促進					目的 (目標)		市内交通循環の円滑化や他都市への移動・交流を促進するため、国や県と連携・協力し幹線道路等のネットワーク構築を図ります。																	
計画上の 測定指標	駒寄スマートICにおける 大型車利用台数					目標値 (H29)	600		台/日	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29											
											0	0	0	0												
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
			A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																		
			B 少し遅れている					・事業エリアである吉岡町の一部用地が未取得であるため、事業が遅延している。 ・今後は、土地収用法の事業認定による用地取得を進め、早期の整備推進を図っていきたい。																		
	○		C 遅れている																							

No	10	大綱		I	政策	O2	施策	O1	事業	O3	担当課	道路建設課		主要	O	一般
事業名		幹線道路等の整備				目的 (目標)		市内の交通循環の円滑化を図ることにより、市民の利便性や生活環境が向上するとともに、地域の活性化にもつながるため、また、病人やけが人の救急搬送や災害発生時の輸送路としても整備が必要となることから、市内の幹線道路等を計画的に整備します。								
計画上の 測定指標	市道における 規格改良済み率の向上					目標値 (H29)	59.1 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
										58.4	58.8	59.2	59.5			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている				・交付金の交付決定額の減少により予定していた事業を執行できない路線もあるが、市内の交通循環の円滑化を図るため選択と集中により幹線道路等の整備の推進を図った。 ・今後も選択と集中により整備の推進を図るとともに、新たな補助の導入等、財源確保に向けた取組も進めていきたい。										
		C 遅れている														

No	11	大綱		I	政策	O2	施策	O1	事業	O4	担当課	道路管理課		主要	O	一般
事業名		道路・橋りょうの維持補修				目的 (目標)		道水路については、安全な通行確保及び市民生活環境の向上を図るための維持補修を行ないます。並びに、通学路や学校周辺における交通事故防止を目的とした道路環境の整備を行ないます。また、橋りょうについては、将来的な改築費用削減や長期にわたる安全性を保つため、計画的な修繕を実施し、橋りょうの長寿命化を図ります。								
計画上の 測定指標	—					目標値 (H29)	—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・道路・橋りょうの維持補修については、恒久的な事業であるなかで、費用対効果や将来的な財政負担の平準化などを勘案した取組を行った。 ・事業の特性上、随時対応が必要となることが多いが、その中でも計画性を持った対応を行っていきたい。										
		B 少し遅れている														
		C 遅れている														

No	12	大綱													I	政策	O2	施策	O2	事業	O1	担当課	交通政策課		主要	O	一般
事業名		鉄道の活性化					目的 (目標)		鉄道の利便性及び快適性の向上を図るため、鉄道事業者、沿線自治体、関係機関と連携し、利用者増となる利用促進策を展開することで、軌道交通の活性化を進めます。																		
計画上の 測定指標	市民1人当たりの 年間平均鉄道利用回数					目標値 (H29)	52.0 回		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29													
										53.3	52.2	53.5	54.1														
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・鉄道利用者増に向けた各種取組の結果、測定指標は現時点で目標値を上回っており、順調に進んでいる。 ・今後も、「前橋市地域公共交通網形成計画」を通じて、バスやタクシーなど他の交通手段とのネットワークを意識しながら利用促進策に取り組んでいく。																				
		B 少し遅れている																									
		C 遅れている																									

No	13	大綱													I	政策	O2	施策	O2	事業	O2	担当課	交通政策課		主要	O	一般
事業名		バス交通網の維持活性化						目的 (目標)		バス路線の充実をはじめ、地域の特性や実情に即したバス交通のあり方を検討し、路線バスの利便性及び利用率の向上を図ります。																	
計画上の 測定指標	市民1人当たりの年間平均 委託路線バス利用回数						目標値 (H29)	3.0回		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
											2.9	3.0	2.9	2.9													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
	○	A 概ね順調に進んでいる						(理由、今後の方向性) ・測定指標については目標値に近い数値で推移しており、最終年度も概ね達成が見込まれる。 ・今後策定される「前橋市地域公共交通網形成計画」に基づく再編実施計画の策定を進めながら、既存のバス路線の再編を実施していく。																			
		B 少し遅れている																									
		C 遅れている																									

No	14	大綱													I	政策	O3	施策	O1	事業	O1	担当課	水道整備課			主要	O	一般
事業名		水道施設の整備					目的 (目標)		高度成長期に集中的に整備された水道施設の老朽化が進み、更新期を迎えている。また、地震対策としての水道施設の耐震化も急務となっており、更新事業を推進し、より安全で安心な水道水の安定供給と災害に強い水道施設の構築を図ります。																			
計画上の 測定指標	市民一人当たり貯留飲料水量					目標値 (H29)	285	ℓ/人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29														
										282	283	283	284															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・浄水場の改築工事や老朽化施設の耐震化計画を通して、目標値に向けて一定の進捗が図られている。 ・今後も水道ビジョンで計画している施設及び管路等の更新事業推進を図っていく。																					
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	15	大綱 I 政策 O3 施策 O2 事業 O1 担当課 下水道整備課 主要 O 一般												
事業名		公共下水道の整備		目的 (目標)		快適で衛生的な生活環境の促進と公共用水域の水質保全を図るため、地域の実情に応じた汚水処理を行うとともに、増大する下水道施設の計画的な維持・更新を図ります。								
計画上の 測定指標	公共下水道普及率			目標値 (H29)	70.2 %	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							69.5	69.9	70.2	70.5				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・計画的な公共下水道の整備や整備地区における普及促進活動を進め、目標値を達成することができた。(平成27年度末目標達成) ・下水道ビジョンに掲げた「未来に向け持続可能な下水道」の実現のため、施設の改築更新、耐震化など新たな目標値の設定について検討する。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	16	大綱 I 政策 03 施策 02 事業 03 担当課 下水道施設課 他 主要 ○ 一般												
事業名		水質浄化、処理施設の維持・更新		目的（目標）		下水道やその他の汚水処理施設から排出される汚水を適正な水質へ浄化・処理するため、水質浄化・処理施設の維持・更新を図ります。								
計画上の測定指標	—		目標値（H29）	—		実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		（理由、今後の方向性） ・炭化施設建設工事（2号炉）が平成28年度に完成し、外部汚泥の受入施設の整備が完了した。 ・水質浄化センターの改築・更新については、3系処理場の耐震化の実施設計の準備作業を進めた。今後、基本計画策定に向けた関係各課との協議を継続していく。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	17	大綱 I 政策 04 施策 01 事業 01 担当課 危機管理室 主要 ○ 一般												
事業名		自主防災の支援		目的 (目標)		自主防災組織の活動は、災害発生時の初期対応において非常に有効であることから、その組織率アップを図るとともに、組織運営に係る情報提供や必要資機材の購入補助を通じて活動の活性化支援を行います。また市主催の総合防災訓練への市民参加を通じて市民の防災意識高揚を図っていきます。さらには自主防災組織への指導助言を行う防災リーダーの育成にも努めていきます。								
計画上の 測定指標	自主防災組織の設立数			目標値 (H29)	285	団体	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								190	205	207	222			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・平成28年度に設立が遅れている地区などを回り、直接、設立依頼を行ったことにより組織化が進んだが、現時点では目標値を下回っている状況である。 ・今後は平成29～30年度に実施する、市と学校、地域が一体となって取り組む避難所配置図整備事業を進め、自主防災会の必要性が認識されることにより組織化が進むことが期待できる。										
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	18	大綱													I	政策	04	施策	01	事業	02	担当課	危機管理室	主要	○	一般			
事業名		災害対策の強化													目的 (目標)		原発事故に伴う放射線については、必要に応じ外部の専門的知見も参考にしながら庁内横断的に対策を講じていきます。また大規模災害に備え、非常用食糧及び生活関連の資機材等を計画的に備蓄していきます。併せて減災の観点から、旧耐震基準に係る木造住宅の耐震化促進や、準用河川等の整備を図っていきます。												
計画上の 測定指標	食糧備蓄数													目標値 (H29)	168,300	食	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29							
																	57,838	103,442	134,332	161,338									
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																												
	○	A 概ね順調に進んでいる													(理由、今後の方向性)														
		B 少し遅れている													・食糧備蓄については、防災倉庫の設置とあわせ各避難所への 配備を進めており、目標を達成する見込みである。														
		C 遅れている													・今後は目標数を確保した後も、食糧の消費期限を見据えなが ら、計画的に入替えを行っていくことが重要となる。														

No	19	大綱 I 政策 04 施策 01 事業 03 担当課 危機管理室 主要 ○ 一般												
事業名		防災体制の充実		目的 (目標)		本市住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、関係機関及び他の地方公共団体の協力を得て策定している地域防災計画について、必要に応じて随時見直しを行い、市全体として遅滞なく災害時に対応できるようにします。また、災害時においても市役所全体の機能を維持し、災害時及び平常時の両面の対応をできるよう、業務継続計画を策定します。								
計画上の 測定指標	要援護者避難支援計画の策定数 (自治会数)			目標値 (H29)	285	団体	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								202	245	247	252			
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・平成28年度に、民生委員児童委員連絡協議会に避難行動要支援者の掘り起こしと登録勧奨の協力依頼を行ったことにより登録者が増えている。 ・一方で、亡くなる人や施設入所になる人も多く、全体の登録者数は概ね前年度と同数となっているが、自治会数が増えていることは、制度周知が進んでいるものと推測できるため、引き続き取組を進めていきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	20	大綱	I	政策	04	施策	02	事業	01	担当課	危機管理室	主要	○	一般
事業名	自主防犯の支援	目的 (目標)	市民による防犯活動を活性化するため、装備品（防犯用ベスト・腕章）の提供等の支援により、防犯活動の質の向上を図ります。また、青色回転灯や防犯パトロール用ステッカーの貸し出しを通じ、青色防犯パトロールの実施を推進します。また従来自治会で管理していた防犯灯を、設備の更新に係る初期投資なく省エネルギー化と維持管理費の低減を図ることのできるESCO事業を活用して市が管理を行い、市民生活の夜間の安全を確保します。											
計画上の 測定指標	市内刑法犯認知件数	目標値 (H29)	3,500	件以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	3,392	3,311	2,954	2,649
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる（理由、今後の方向性） ・市民レベルの防犯活動の活性化及び防犯意識の向上により、毎年目標値を下回る実績となっている。 ・今後の地域の防犯活動については、防犯協会や地元自治会に対して、継続して支援を行う。また防犯灯事業についてはESCO事業により民間と連携した事業展開を続ける。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	21	大綱	I	政策	04	施策	03	事業	01	担当課	消防局総務課	主要	○	一般
事業名	消防施設・設備の充実	目的 (目標)	地震や台風など大規模化、複雑化する災害に迅速・的確に対応するため、庁舎の耐震化をはじめとする消防施設・設備の充実強化を図ります。											
計画上の 測定指標	消防庁舎の耐震化率	目標値 (H29)	100	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	82	82	82	91
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる（理由、今後の方向性） ・東消防署の耐震化が終了となり、城南分署の耐震化（設計業務）にも着手するなど、消防力の強化に向けて消防施設や設備の充実を図った。 ・今後は、残りの利根分署の建設に向け、環境を整えながら迅速に事業を進めていく。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	22	大綱	I	政策	04	施策	03	事業	03	担当課	警防課	主要	○	一般
事業名	救助・救急・消火体制の強化	目的 (目標)	各種災害に迅速、的確に対応するため、救助、救急、消火体制の充実強化を図ります。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる（理由、今後の方向性） ・各事業（耐震性貯水槽建設事業、救助資機材整備事業）とも、計画的に整備・購入を行い、各種災害に対応できるよう、体制の充実を図った。 ・応急手当普及啓発事業については、受講者の増加に対応できる効果的な講習を実施するなど、計画的な普及活動に努めた。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	23	大綱	I	政策	04	施策	04	事業	01	担当課	交通政策課	主要	○	一般
事業名	交通安全対策の充実	目的 (目標)	交通安全に関する各種対策を推進し、交通事故の発生を抑制して、交通事故による死傷者数をできる限り減少させ、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。											
計画上の 測定指標	交通事故死傷者数	目標値 (H29)	4,000	人以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	5,041	4,578	4,388	4,081
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる（理由、今後の方向性） ・交通安全指導や工夫を凝らした交通安全教室を積極的に行った結果、交通事故死傷者数については年々減少しており、目標達成に向け順調に推移している。 ・その半面、群馬県は全国比較で中高生の自転車交通事故が多いため、自転車の交通安全教育をより充実し、自転車事故発生率を減少させることにより、市民全員が安心して暮らせる交通環境の実現に向け事業を推進していきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	24	大綱	Ⅱ	政策	01	施策	01	事業	01	担当課	公園緑地課	主要	○	一般
事業名	公園・緑地の整備			目的 (目標)	市民の緑豊かな生活環境を実現するため、地域の特性や自然環境に配慮した公園整備を推進します。また整備にあたっては、必要性や優先性の判断に基づく、費用対効果の高い事業実施を目指します。									
計画上の 測定指標	都市公園の整備面積 (一人当たり公園面積)			目標値 (H29)	12.5	m/人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								11.1	11.4	11.6	11.7			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・国庫補助金の圧縮に伴い土地区画整理地内の関連事業に遅延が生じているが、限られた財源の中で優先順位をつけ着実に事業を進めている。 ・今後も関連事業について、財源確保に努め関係課と連携を図り計画的な公園整備を進めていきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	25	大綱Ⅱ政策01施策01事業04担当課農林課主要○一般												
事業名		森林整備及び有害鳥獣対策の推進			目的 (目標)		赤城山麓の森林を守るため、病虫害対策や造林・間伐及び保育等により、森林整備を推進し森林・林業の活性化や緑の保全に努めます。また、増加傾向にある有害鳥獣による、各種被害を防止するため、有害鳥獣対策協議会を中心として、被害軽減対策に取り組みます。							
計画上の 測定指標	有害鳥獣捕獲頭数 (イノシシ、シカ)			目標値 (H29)	300	頭	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								411	573	572	835			
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・有害鳥獣捕獲や狩猟期捕獲の奨励金交付及び野生動物対策組合と連携した電気柵・緩衝帯の設置などの取組により、着実に事業が進んでいる。 ・今後も、有害鳥獣対策を講じ、森林の整備と併せて推進することで、赤城南麓の森林保全に努めていきたい。								
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	26	大綱Ⅱ政策01施策02事業03担当課清掃施設課主要○一般												
事業名		環境学習の拠点施設整備・活用			目的 (目標)		ごみ問題や環境への理解・認識を深めてもらうため、小中学生や自治会、生涯学習等の各種団体を対象に、清掃施設の見学を実施します。また、環境学習の一助とするため、環境マップの作成や環境学習体験可能施設などの情報提供を行います。							
計画上の 測定指標	施設見学参加人数				目標値 (H29)	7,000人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								6,434	5,949	5,636	5,478			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・現在の施設見学者の9割程度が小学生であり、少子化の影響により参加する児童数も減少傾向にある。 ・今後は、児童だけでなく、社会人への参加の働きかけをより一層行うことで、ごみ問題や環境への理解・認識を深めていきたい。								
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	27	大綱Ⅱ政策01施策02事業05担当課環境政策課主要○一般												
事業名		事業者に対する環境配慮意識の啓発		目的（目標）	事業所等が行う環境配慮型事業の支援を行うとともに、事業所と連携した環境保全活動を促進し、産官学一体となった環境への取り組みを推進します。									
計画上の測定指標	協定締結に伴う公害防止計画の策定率			目標値（H29）	100	%	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								100	100	100	100			
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		（理由、今後の方向性） ・新たに進出した企業も含め、全ての工場団地内企業と協定締結ができており、順調に推移している。 ・引き続き新規工業団地進出企業との協定締結に努め、規制基準の遵守等、環境へ配慮した事業活動への指導・啓発に取り組んでいきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	28	大綱				Ⅱ	政策	O2	施策	O1	事業	O1	担当課	ごみ減量課	主要	○	一般
事業名		ごみの発生抑制の促進				目的 (目標)		生活ごみの3R推進を図るため、小中学校の現場や子育て講座、高齢者等各世代の生活に沿った啓発を実施し、ごみ問題に関する正しい知識の普及と関心を高めます。またマイはし・マイボトル・マイバッグの推奨、宴会等での食べ切り運動などごみの発生抑制に係るキャンペーンを実施するとともに、ごみ減量化器具・設備の導入促進に努めることにより生ごみの減量を図ります。									
計画上の 測定指標	市民1人1日あたりの 家庭ごみ排出量 (資源ごみを除く)				目標値 (H29)	511	g	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
									594	593	583	569					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																
		A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)											
	○	B 少し遅れている				・平成28年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画で定めた目標値（H32年度までに549g）へ着実に向かっている。 ・説明会等を開催し、地域や学校と連携をしながら、ごみ減量の啓発活動を進めていきたい。											
		C 遅れている															

No	29	大綱Ⅱ政策O2施策O1事業O2担当課ごみ減量課主要○一般												
事業名		ごみの再利用・再生利用の促進		目的（目標）		各家庭で利用されているごみ収集カレンダーを積極的に活用し、市全体の資源化率向上を図ります。リユース市の開催にあたっては、地域のボランティアや参加者と連携し、3Rに関する効果的な啓発を実施します。また、地域で行われる有価物集団回収事業を支援することにより、古紙の回収・リサイクルに努め、新たに小型家電の回収も開始し、レアメタル等のリサイクルにも努めます。								
計画上の測定指標	ごみ再生利用率（リサイクル率）	目標値（H29）	27.0	%	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
						18	18	19	19.8					
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる	（理由、今後の方向性） 平成28年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画で定めた目標値（H32年度までに21.8%）へ着実に向かっている。 ・資源化の促進に向けて引き続き、紙・衣類等や使用済小型家電の回収を強化し、リサイクル率を向上させるため市民への啓発活動等を実施していきたい。											
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	30	大綱Ⅱ政策O2施策O1事業O3担当課ごみ減量課主要○一般												
事業名		事業所ごみの減量		目的 (目標)		市内各事業者に対して、一般のごみ集積場所に事業ごみを排出しないよう啓発するとともに、紙ごみ等のリサイクルについて協力を依頼し事業系ごみの減量に努めます。								
計画上の 測定指標	事業所ごみ排出量			目標値 (H29)	32,000 t	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							35,564	35,220	28,757	26,862				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・産業廃棄物の混入を防ぐために実施する展開検査の強化や事業所ごみの不適正排出に対する指導件数の増加により、排出量を大幅に削減できている。 ・引き続き、事業所ごみ排出量減少に向けた取組を実施していきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	31	大綱Ⅱ政策O2施策O2事業O2担当課清掃施設整備室主要○一般												
事業名		ごみ処理施設の整備・充実		目的 (目標)		ごみ焼却施設である六供、竜泉、大胡の現有3清掃工場は、いずれも稼働後20年以上が経過し老朽化が進んでいることから、平成24年度に策定した清掃施設整備方針に基づき、基幹施設である六供清掃工場を中心に延命化計画を進めます。また、同じく20年以上経過した、不燃・資源ごみ処理施設である荻窪清掃工場の整備手法について検討を行います。								
計画上の 測定指標	資源化施設における資源化量			目標値 (H29)	7,100	t	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
							6,869	6,763	6,708	6,555				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・ごみの総排出量に合わせて資源化量も減少しているが、資源化割合は高めている。 ・六供清掃工場の延命化工事は、平成31年度の完了に向けて計画通りに進めていく。また、荻窪清掃工場は、基幹整備工事を進め、平成30年度にかけて改修工事を行っていく。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	32	大綱Ⅱ政策03施策01事業01担当課環境政策課主要○一般												
事業名		CO2削減の推進		目的 (目標)	地球温暖化防止に向けた取組を推進するため、市民・事業者にも普及啓発活動を行うとともに、市役所における地球温暖化防止に向けた省エネルギー・省資源などを推進します。									
計画上の 測定指標	温室効果ガス（CO2）排出量		目標値 (H29)	2,075	千以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							2,594	—	—	—				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる		（理由、今後の方向性） ・東日本大震災以降の電気使用量に係る排出係数の悪化に伴いCO2排出量は増加傾向にある。 ・地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」に賛同し、日常生活において実践できる環境配慮行動を市民へ啓発していきたい。										
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	33	大綱		Ⅱ	政策	03	施策	02	事業	01	担当課	清掃施設課	主要	○	一般
事業名		エネルギーと資源の有効活用				目的 (目標)		可燃ごみを焼却処理した後の焼却灰は、従来は全量を市有の最終処分場へ運搬し埋立処分していましたが、資源化の向上と最終処分場の延命化を図るため、処理委託により焼却灰の資源化を推進します。							
計画上の 測定指標	焼却灰の資源化量				目標値 (H29)	2,516	t	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
									454	557	1,015	1,474			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている				・最終処分場の延命化及び資源化の向上に向けて、焼却灰の資源化量の増加を進めている。									
		C 遅れている				・平成29年度は、委託量を今まで以上に増やすことで、目標値に近い数量を資源化していきたい。									

No	34	大綱	Ⅱ	政策	03	施策	02	事業	02	担当課	環境政策課	主要	○	一般
事業名		新エネルギーの導入促進			目的 (目標)		地域資源の有効活用と環境負荷を低減するため、地域特性にあった新エネルギーの導入を進め、低炭素社会を実現します。							
計画上の 測定指標	太陽光発電による 発電能力量（累計）			目標値 (H29)	89,000 kW		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								56,735	97,000	159,600	-			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・市内における太陽光発電の導入状況については、固定価格買取制度の影響を受け、急速に導入が進んでおり、今後も順調に推移していく見込みである。									
		C 遅れている			・今後は太陽光発電に限らず、本市の特性を活かした小水力やバイオマスなどの再生可能エネルギーの導入について、多角的に検討を行い、低炭素社会の実現に向けた更なる取組を推進していきたい。									

No	35	大綱Ⅱ政策03施策02事業03担当課環境政策課主要○一般												
事業名		次世代技術の導入促進		目的 (目標)		エネルギーや資源の有効活用に向けて、新しい技術を研究及び導入促進することを目的とします。 ・環境に負荷の少ない電気自動車のインフラ整備 ・エネルギー有効活用に向けたスマートグリッド導入検討								
計画上の 測定指標	公用車における 電気自動車の占める割合			目標値 (H29)	1.0	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								0.4 (3/728)	0.5 (4/733)	0.5 (5/736)	0.6 (5/735)			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・充電インフラは一定の整備を終えた。 ・今後は、電気自動車の航続距離や導入コスト、公用車保有の在り方などに応じ、EVの割合を高められるように努めていきたい。										
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	36	大綱 Ⅲ 政策 01 施策 01 事業 01 担当課 健康増進課 主要 ○ 一般												
事業名		健康づくりの推進			目的 (目標)		市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上を図るため、生活習慣病の予防や精神保健福祉に関する正しい知識の普及、啓発を行い、「自分の健康は自分で守る」意識と自覚を高め、健康の保持増進を図る事業を実施します。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・健康教室の開催は、保健センター等での開催に留まらず、地域に出向いて開催するなど、積極的に市民の健康づくりに対する取組を実施している。 ・引き続き、食育等と併せて健康増進を推進するとともに、特定保健指導の実施率向上に向けた取組も進め、市民の健康寿命の延伸を図る。									
		C 遅れている			また、身体のみでなく心の健康づくりも引き続き積極的に取り組み、平成29年度には自殺対策推進計画を策定し、市民の心身の健康増進を図る。									

No	37	大綱Ⅲ政策01施策01事業02担当課健康増進課主要○一般												
事業名		疾病予防の充実		目的 (目標)		生活習慣病など疾病の早期発見、早期治療に結びつけるため、各種の健康診査を実施して、市民の主体的な健康意識を高め、健康保持、増進を図ります。								
計画上の 測定指標	子宮頸がん検診受診率			目標値 (H29)	50	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								53.5	54.0	56.3	58.9			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている		・健診未受診者等に対する広報や通知による再勧奨を行うことにより、特定健診やがん検診の受診率はほとんどの項目で増加しており、疾病の早期発見に寄与している。										
		C 遅れている		・スマイル健診について、事後指導を徹底することにより、健診受診の効果を最大限に発揮し、市民の健康保持・増進を図る。										

No	38	大綱Ⅲ政策01施策02事業01担当課保健総務課主要○一般												
事業名		地域医療環境の充実		目的 (目標)		市民が安心して医療を受けられるよう、医療機関や関係団体と連携し、医療環境づくりを推進します。								
計画上の 測定指標	病院・有床診療所・薬局・薬店 への立入検査・監視件数			目標値 (H29)	110	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								94	101	102	105			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている		・立入検査、監視件数については着実に増加している。 ・今後も、市民が安心して医療を受けられるような医療環境づくりに向けて取組を進める。										
		C 遅れている		また、引き続き医療施設、薬局等の監視指導を監視指導計画等に基づき実施し、市民生活の質向上に向けて取組を進める。										

No	39	大綱Ⅲ政策01施策02事業02担当課保健総務課主要○一般												
事業名		救急医療体制の充実		目的 (目標)	休日及び夜間において、急病患者が安心して診療が受けられるよう、初期救急医療体制の確保を図ります。									
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・夜間急病診療所での休日午前診療を行うなど、救急医療体制の充実を図っている。 ・夜間急病診療所の前橋赤十字病院跡地への移転に併せ、混雑緩和に向けた休日当番医制の運営方法について、夜間急病診療所の活用を含め、前橋市医師会と検討していく。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	40	大綱 Ⅲ 政策 01 施策 02 事業 03 担当課 国民健康保険課 主要 ○ 一般												
事業名		国民健康保険制度の適正な運営		目的（目標）		国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産や死亡に対して保険給付を行う医療保険制度です。安定した制度運営のために、被保険者資格の適用の適正管理や医療費の適正化を図り、国民健康保険財政の健全化に努めます。								
計画上の測定指標	ジェネリック医薬品の利用率		目標値(H29)	38	%	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							34	38	42	43				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている		・差額通知（年2回発送）、市広報、市ホームページなどで周知を図っており、被保険者の理解が深まっていることが利用率が上昇している一因と考えられる。また、保険証に貼ることのできる希望シールを市役所・支所・市民SC等で配架し、ジェネリック医薬品を希望しやすい環境も整えている。										
		C 遅れている		・今後は、医師や薬剤師と連携し、更なる利用率向上を図る。また、切替えに慎重な被保険者に向け、オーソライズドジェネリックなどの周知も行っていく。										

No	41	大綱		Ⅲ	政策	01	施策	03	事業	03	担当課	保健予防課	主要	○	一般
事業名		感染症対策の充実			目的 (目標)		乳幼児から高齢者までを対象とした予防接種の実施と、広く市民に対する感染症の啓発活動等を通じて、健康被害の未然防止に努めます。 また、感染症発生時には医療機関と緊密な連携を図り、感染拡大の防止と患者への対応に取り組みます。								
計画上の 測定指標	子どもの予防ワクチンの接種率 (ヒブ・小児用肺炎球菌)			目標値 (H29)	90.0	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
								113.1(ヒブ) 105.5(肺炎)	104.0(ヒブ) 103.8(肺炎)	102.0(ヒブ) 102.3(肺炎)	100.4(ヒブ) 100.6(肺炎)				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている			・測定指標については、計画期間を通して高い数値を維持しており、最終年度も目標の達成が見込まれる。										
		C 遅れている			・今後も前橋市医師会や関係課と連携して積極的な周知・啓発を行うことにより、子供の予防ワクチンの接種率を高く維持できるように努めていく。										

No	42	大綱	Ⅲ	政策	02	施策	01	事業	01	担当課	子育て支援課	主要	○	一般
事業名		親子の健康増進			目的 (目標)		健やかに子どもを産み育てるための事業助成や健康診査事業を充実し、親子の健全な発育・発達のための子育て支援に結びつける。							
計画上の 測定指標	①1歳6か月健康診査の受診率 ②3歳児健康診査の受診率			目標値 (H29)	①96 ②96	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								①97.3 ②94.2	①97.6 ②95.9	①96.4 ②95.8	①96.7 ②96.7			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・健診受診率は、両健診とも目標値をクリアしている。さらに、先進的な取組として5歳児健診を実施している。 ・現受診率を維持しつつ、限られた人員・体制の中で、親子それぞれに寄り添った子育て支援を行っていきたい。また、専門職の確保に取り組むとともに、事後フォロー体制についても検討を進めて更なる充実を図りたい。									
		C 遅れている												

No	43	大綱Ⅲ政策02施策02事業01担当課子育て施設課主要○一般												
事業名		地域における多様な子育て支援		目的（目標）		子育ての負担の緩和を図り、安心して子育てができる環境を整備するため、地域における子育て支援拠点の設置を推進し、地域の実情に応じたきめ細かなサービスの提供（両親の就労などにより保育所の送迎や病後児の看護が困難な場合に対応できる支援サービスや保育料の軽減措置を行い経済的負担を軽減する）を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図ります。								
計画上の測定指標	地域子育て支援拠点事業及び元気保育園子育て応援事業の利用者数			目標値（H29）	79,017	人	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								74,502	72,389	69,391	65,686			
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		（理由、今後の方向性） ・新たに認定こども園に移行した施設があり、指標の対象となる施設が減ったため、元気保育園としての利用者数自体は減少したが、子育て支援拠点事業や認定こども園の子育て支援事業において必要な支援を行っており、実績値には反映されないものの、子育て支援施策は充実している。 ・今後も子育て支援拠点事業や認定こども園の子育て支援事業において子育て世帯の交流や相談・アドバイス等を通じ、子育て世帯への支援を進めていく。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	44	大綱Ⅲ政策02施策02事業02担当課子育て施設課主要○一般												
事業名		保育サービスの充実		目的 (目標)	延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育の実施及び充実により保育サービスを充実させることで、乳幼児を持つ父母の子育てと就労等の両立を支援します。									
計画上の 測定指標	体調不良児の対応施設数			目標値 (H29)	16箇所	実績値 の推移	H25 19	H26 18	H27 20	H28 21	H29			
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・認定こども園をはじめとして、新たに看護師を配置し体調不良児保育を実施する園が増えており、目標値を上回っている。 ・要望が多様化しているため、引き続きサービスの充実を検討していく。								
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	45	大綱Ⅲ政策02施策02事業03担当課子育て施設課主要○一般												
事業名		保育所（園）・幼稚園環境の整備			目的（目標）		市立保育所の適切な維持管理により、入所児童の快適な保育環境を確保します。また、民間保育所及び私立幼稚園の入所児童の快適な保育環境を確保するため、施設整備費を補助します。							
計画上の測定指標	施設整備実施施設（箇所）数				目標値（H29）	市立8 民間6 幼稚園3 箇所/年	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								市立13 民間10 幼稚園5	市立10 民間10 幼稚園3	市立12 民間9 認可2 幼稚園2	市立10 民間6 認可5 幼稚園1			
進捗状況と今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・順次施設整備を進めており、目標値を上回る取組を行っている。 ・財政面の事情があるが、3歳未満児保育等、緊急性を考慮しながら今後も整備を進めてまいりたい。また、今後の必要数についても、合わせて慎重に検討していく。							
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	46	大綱Ⅲ政策02施策02事業04担当課子育て施設課主要○一般												
事業名		児童の健全育成		目的 (目標)		児童に健全な遊びを提供するため、児童館を運営し、児童の健康増進と情操教育、母親クラブ等の組織活動の育成助長を図ります。また、親が子どもを安心して預けられるよう、放課後児童クラブの充実を図り、子育てと仕事の両立を支援します。								
計画上の 測定指標	①児童館数 ②放課後児童クラブ利用者数		目標値 (H29)	①5 ②2,500	箇所 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							①5 ②2,271	①5 ②2,535	①5 ②2,874	①5 ②3,296				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・児童館及び放課後児童クラブ利用者は年々増加しており、概ね順調に事業が進んでいる。 ・今後とも入学予定児童数等を見通し、必要性の高い地域から計画的に整備を進めるなど事業を継続していきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	47	大綱			Ⅲ	政策	02	施策	02	事業	05	担当課	政策推進課	主要	○	一般
事業名		出会いの機会の応援				目的 (目標)	若年男女の結婚への壁の打破に向けて、アクションプランを提言するとともに、新たな出会いにつながるような学び・活動の場を提供することにより、出会いの機会を応援します。									
計画上の 測定指標	—					目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・平成28年度は、間接的な結婚支援策として、市民参加型ワークショップや市民へのインタビュー等を通じた「前橋結婚手帖」の作成を行い、結婚への機運醸成に向けた計画的な取組を行った。 ・今後は、結婚関連事業者をはじめとした民間団体等との連携のもと、「前橋結婚手帖」の活用をはじめ、成果を意識した取組を進めたい。										
		B 少し遅れている														
		C 遅れている														

No	48	大綱Ⅲ政策02施策03事業01担当課子育て支援課主要○一般												
事業名		児童虐待防止対策の充実			目的 (目標)		子どもの健全な育成と家庭への支援を図るため、子どもの養育に関することや家庭からの相談などに対し、適切な助言指導を行うとともに、子どもと家庭に対し、総合的・一体的支援を実施します。							
計画上の 測定指標	児童虐待（疑いを含む）家庭 への対応件数			目標値 (H29)	2,000 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							2,639	2,597	2,284	2,349				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・「子どもの最善の利益を優先する」との思想に基づき、安全で安心した生活が送れるよう、きめ細かい対応を図っており、対応件数が目標値を上回っている。 ・児童虐待（疑いを含む）対応が多いことは決して望ましいことではないが、子どもの養育に悩む者からの相談に的確に対応していくことで、深刻な結果の未然防止が図られるため、これからも適切な対応を実施する。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	49	大綱		Ⅲ	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	介護高齢課	主要	○	一般
事業名		社会参加の促進			目的 (目標)		高齢者が充実した生活を送ることができるよう、生きがいづくりの環境及び施設環境を整え、高齢者の就業機会の拡充や社会参加の促進などに取り組みます。								
計画上の 測定指標	老人福祉センター利用者数			目標値 (H29)	1,000	人/日	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
								1,173	1,226	1,022	1,003				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている			・利用者の実績値は目標値を上回っているが、減少傾向にある原因の一つは、地域のいきいきサロンや公民館等のサークル活動が盛んであり、高齢者の生きがいの場やレクリエーションを行う機会が増加している事であると考えられる。 ・今後は、ピンジャン！元気体操や各種の健康教室を充実させ、介護予防事業を拡大する。また、送迎バスの見直しを行い、高齢者の利用促進を図り利用者を拡大したい。										
		C 遅れている													

No	50	大綱 Ⅲ 政策 03 施策 01 事業 02 担当課 介護高齢課 主要 ○ 一般												
事業名		介護予防事業の推進			目的 (目標)		高齢者ができる限り、介護が必要な状態に陥ることなく、健やかで活力ある自立した生活を送ることができるよう、介護予防を推進します。							
計画上の 測定指標	高齢者に占める 要介護認定者の割合			目標値 (H29)	18.0	%以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								18.0	17.6	17.2	17.2			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・介護予防サポーター自身が健康づくりや地域の担い手として、ピンジャン！元気体操等を実施し役割を發揮している。また、各教室等を実施しながら総合事業の移行について検討し、29年度には順調にサービス提供が開始した。 ・今後もサポーター自身の健康増進、知識・技術の向上のため、学びや活動の場を提供していく。また、総合事業については一部困難なサービスもあるため、検討を進める。									
		C 遅れている												

No	51	大綱	Ⅲ	政策	03	施策	01	事業	03	担当課	介護高齢課	主要	○	一般
事業名		包括的支援の充実		目的 (目標)		地域の高齢者が、安心してその人らしい生活を継続できるよう、地域包括支援センターにおいて、総合相談・支援及び、権利擁護、困難事例、ケアマネージャーへの助言・支援等、専門的、継続的な支援を行います。								
計画上の 測定指標	地域包括支援センターにおける 相談件数		目標値 (H29)	11,000 件		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							10,958	12,442	14,623	15,752				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている		・相談件数が年々増加しており、専門的な相談支援機能を十分発揮している。 ・新総合事業開始に伴ってH29年度は各包括支援センターに職員1名を増員し人的強化を図る。また、次期(H30～H32年度)3年間の包括選定に当たっては、基幹型包括の機能強化を図るため、直営の包括中央圏域の北部・中部を新規委託する。H30年度からは、直営1か所、委託11か所 計12か所を設置する予定である。										
		C 遅れている												

No	52	大綱		Ⅲ	政策	03	施策	01	事業	04	担当課	介護高齢課	主要	○	一般
事業名		地域包括ケアシステムの構築			目的 (目標)		高齢者が住み慣れた地域で自立して生活続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供していく地域包括ケアシステムの構築を進めます。								
計画上の 測定指標	—				目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている				・在宅医療介護連携推進事業及び生活支援体制整備事業を開始し、様々な取組の中で推進体制づくりが概ね順調に進んでいる。									
		C 遅れている				・総合事業の多様なサービスを充実するためにも、地域包括ケアの機運の醸成を図り、新たに住民主体の多様なサービスを創出していく。									

No	53	大綱 Ⅲ 政策 03 施策 02 事業 01 担当課 介護高齢課 主要 ○ 一般												
事業名		介護保険給付対象サービスの充実			目的 (目標)		介護が必要になっても、高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるよう、介護保険法に基づき、介護サービスの円滑な保険給付を実施します。							
計画上の 測定指標	介護サービス利用者に占める 居宅サービス利用者の割合			目標値 (H29)	82.19 %	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							81.52	82.37	82.87	83.29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・居宅サービス利用者の割合が増加しており、住み慣れた場所での生活を支援することの成果が表れている。 ・地域密着型サービスを今後も計画的に整備していき、在宅生活を続けるための支援をしていきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	54	大綱 Ⅲ 政策 04 施策 01 事業 01 担当課 障害福祉課 主要 ○ 一般												
事業名		自立支援給付サービスの充実		目的 (目標)		障害者が各々の能力や特性に応じて、地域でいきいきと生活することができるよう、指定特定相談支援事業者により作成されたサービス等利用計画案を勘案し適切な自立支援給付の支給決定を行います。また、サービス利用後の事後評価においては、相談支援事業者やサービス事業者等と連携を図りながらモニタリングを実施し、障害者の自立と社会参加に向けた支援の充実に努めます。								
計画上の 測定指標	支給決定を受け 地域生活している人数			目標値 (H29)	2,200 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							1,830	1,846	1,918	1,979				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・サービスの支給決定を受けている人が増加しており、支援を必要とする人へのサービス提供ができている。 ・サービス利用の充実を図るとともに、利用者それぞれのサービス等利用計画に基づき、必要なサービスの提供を行っていき たい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	55	大綱 Ⅲ 政策 04 施策 01 事業 02 担当課 障害福祉課 主要 ○ 一般												
事業名		障害者の就労支援		目的 (目標)		働く意欲を持った障害のある人が、障害特性や働き方に応じて支援を受けられる環境を充実するとともに、関係機関・施設等との連携を強化し、地域で自立した生活を送るために必要な支援体制整備等を推進します。障害者の働くことへの理解や工賃アップにつなげるための販路拡大、地域との結びつきを目指す活動を支援、推進します。								
計画上の 測定指標	障害者就労支援施設から 一般就労へ移行した人数			目標値 (H29)	16	人	実績値 の推移	H25 4	H26 9	H27 13	H28 9	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・施設から一般就労に移行した人数は停滞したが、就労継続支援A型事業所（雇用契約あり）の利用者が増加していることも要因の一つと考えられる。									
		B 少し遅れている			・共同受注の拡大を更に推進し、工賃アップのための販路拡大を目指すとともに、農業分野等への就労の取組も行う。									
		C 遅れている												

No	56	大綱	Ⅲ	政策	04	施策	02	事業	01	担当課	障害福祉課	主要	○	一般
事業名	生活支援サービスの充実	目的 (目標)	障害者が、住み慣れた地域で安心して快適に生活を送ることができるよう、外出支援やコミュニケーションに関する支援等、各々の多様な生活ニーズに対応した福祉サービスの整備・充実を進めます。											
計画上の 測定指標	①移動支援事業の実利用者数 ②障害者成年後見制度支援事業の利用者数	目標値 (H29)	①340 ②23	人	実績値 の推移	H25 ①386 ②5	H26 ①397 ②9	H27 ①425 ②8	H28 ①555 ②7	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・移動支援は見込み数を大きく上回っているが、支援を必要とする状況に対応し、サービス提供を行うことができています。成年後見制度支援事業については目標値に達していないが、家庭裁判所等との連携により、支援が必要な方へ対応している。 ・成年後見制度利用促進法の施行により、家裁や社協、県との協議を開始したところであり、今後見込まれる成年後見の増加に適切に対応していく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	57	大綱	Ⅲ	政策	04	施策	02	事業	02	担当課	障害福祉課	主要	○	一般
事業名	相談支援体制の充実	目的 (目標)	障害者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう、障害者や保護者または介護者等からの相談に応じ、必要な福祉サービスの利用に関する情報提供等の支援、虐待の防止や権利擁護に必要な援助など、多様なニーズに対応した的確な相談支援を行います。また、相談支援事業者をはじめ、福祉、保健・医療、教育、雇用等の関係機関で構成する地域自立支援協議会にて、就労支援や社会資源の活用方法等、障害福祉システムづくりを推進します。											
計画上の 測定指標	相談支援事業の利用件数	目標値 (H29)	6,300	件	実績値 の推移	H25 4,153	H26 4,692	H27 5,649	H28 5,902	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・相談支援事業所における利用件数は毎年増加しており、相談しやすい環境整備を進めていることの成果が見られる。 ・相談支援事業所が引き続き地域の身近な相談窓口として機能を発揮していけるよう、基幹相談支援センターにおいて相談支援専門員への助言、質の向上に向けた研修等を実施していく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	58	大綱	Ⅲ	政策	05	施策	01	事業	01	担当課	社会福祉課	主要	○	一般
事業名	地域福祉活動の活性化	目的 (目標)	地域福祉活動の担い手となる社会福祉協議会・自治会・民生委員児童委員などへの支援を通じて、住民と行政・関係機関・関係団体の連携・協働による、助け合い・支えあいの地域づくりを推進することで、地域福祉活動の活性化を図ります。											
計画上の 測定指標	ふれあい・いきいきサロンの実施箇所数	目標値 (H29)	300	箇所	実績値 の推移	H25 276	H26 280	H27 282	H28 286	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・ほとんどの自治会でサロン活動が行われており、全市的に地域福祉活動の充実に向けた取組が進んでいる(平成28年度 高齢者サロン259箇所、子育てサロン26箇所、障害者サロン1箇所)。 ・今後もより多くの地区でサロン活動に取り組めるよう支援を実施する。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	59	大綱	Ⅲ	政策	05	施策	02	事業	01	担当課	社会福祉課	主要	○	一般
事業名	要保護世帯への支援	目的 (目標)	生活保護制度の適正な運営を図るとともに、生活保護受給者の社会的自立を促進するため、就労が可能な対象者に対して、職業安定所等の関係機関と連携を図りながら、就労活動の支援を実施します。											
計画上の 測定指標	「福祉から就労」支援事業により支援した人数(就職者数)	目標値 (H29)	100 (60)	名	実績値 の推移	H25 366 (202)	H26 325 (210)	H27 363 (232)	H28 325 (196)	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・ケースワーカー、就労支援員、ハローワークナビゲーターが連携を図り、積極的な就労支援に取り組んでいる。 ・体調面、精神面、家庭環境等様々な問題を抱えた支援対象者が多く、就労及び就労後の職場定着に向けた継続的な支援を実施する。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	60	大綱													Ⅳ	政策	01	施策	01	事業	03	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名		中小企業振興の基盤づくり										目的 (目標)		本市の中小企業振興に関する基本理念を定め、市の責務、中小企業者等の努めるべき事項などを明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項を定めることにより、中小企業振興に関する施策を総合的に推進します。												
計画上の 測定指標	—										目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29							
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・前橋市産業振興ビジョンの改定に向け、前橋市産業振興ビジョン協議会を概ね計画通り開催し、協議を実施した。 ・今後は、改定された産業振興ビジョンに基づき、計画の進捗管理を行いながら、目標数値の達成に向け事業を実施していく。														
		B 少し遅れている																								
		C 遅れている																								

No	61	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	02	事業	01	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名		新製品・新技術の開発支援			目的 (目標)		市内企業の活力ある発展のために、積極的な自社独自の新製品・新技術の開発や自社製品の販路開拓に対する支援を行ない、高付加価値の製品づくりを推進します。							
計画上の 測定指標	新製品・新技術開発補助事業 採択件数（5年間の合計値）			目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								6	9 (15)	6 (21)	6 (27)			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・目標値は達成した。平成27年度から実施した長期対応型新製品・新技術開発推進補助金や県との連携で実施するパートナーシップ支援型補助金等、企業の新製品・新技術の開発に対し、様々なフェーズに対しての支援を実施した。 ・今後は制度の統合等により、事業者にとってさらに利用しやすい制度を目指す。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	62	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	02	事業	02	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名		産学官連携の推進			目的 (目標)		市内企業の技術力向上と製品の高付加価値化を推進するため、企業・大学・研究機関との連携を進め、自社技術の向上及び自社製品の開発に向けた取り組みや、研修会・資格取得に対する取り組みを積極的に支援します。							
計画上の 測定指標	補助全体の件数 (5年間の合計値)			目標値 (H29)	125	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								40	50 (90)	68 (158)	56 (214)			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・目標値は達成した。 ・企業の研究ニーズに対し、前橋工科大学との共同研究に対する補助を実施した。なお、今後はNo.61の拡充により、共同研究を支援していく。 ・企業経営の課題解決に向けて支援機関がチームを作り訪問する、御用聞き型企業訪問事業による継続支援を行った。今後も訪問企業数及びアフターフォローの充実を図る。									
		C 遅れている												

No	63	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	03	事業	01	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名		企業誘致の促進			目的 (目標)		地域産業の経営基盤の強化と、本市経済の安定的な発展、また積極的な雇用機会の拡大を目的として、本市に企業が進出できるよう、立地環境や魅力を積極的に情報発信するとともに、立地に対する支援を行います。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・五代南部工業団地（拡張）について、今年度中に進出企業が決定し、完売する見込みであり、概ね順調に進んでいる。									
		C 遅れている			・上武道路全線開通を追い風に、企業進出の高まりは継続しており、次の団地造成について、関係各課と協議するとともに、地元とも意見交換をしながら合意形成を進める。									

No	64	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	03	事業	02	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名	創業支援の充実	目的 (目標)	本市の起業家の育成と創業を促進するために、経営に関するセミナーやコンサルティングなどを実施します。また、将来の産業を向う小・中・高校生に産業や起業への興味を育むため、体験事業を実施します。											
計画上の 測定指標	創業サポート総合制度 新規利用件数（5年間の合計値）	目標値 (H29)	100	件	実績値 の推移	H25 38	H26 22 (60)	H27 30 (90)	H28 20 (110)	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	（理由、今後の方向性） ・目標値は達成した。前橋市創業センターの開所により、創業支援の拠点が整った。 ・今後は創業支援制度の更なる周知により、ソフト面での支援の充実を図っていく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	65	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	04	事業	01	担当課	にぎわい商業課 他	主要	○	一般
事業名	新しい事業活動への支援	目的 (目標)	新たな小売形態や消費者ニーズの変化に対応するため、新しい事業活動に取り組もうとする事業者及び商店街への支援を行うとともに、買い物困難者への対応や地域商店の活性化に向けた地域券の導入など、買い物環境の改善に向けた支援のあり方を検討・実施します。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	（理由、今後の方向性） ・商店街への支援を継続的に実施する一方で、意欲のある個店への支援を新たに実施し、事業者及び商店街への支援を拡充してきた。 ・今後は、商店街への支援を見直ししながら、あわせて個店への支援を充実していくことで、新しい事業活動の創出と促進を図っていく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	66	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	05	事業	01	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名	就労支援	目的 (目標)	失業者や学生等の就職を支援するため、各種セミナーや講座、就労相談等を実施します。また、確かな技術や知識を持った技能者を養成するための職業訓練を推進します。											
計画上の 測定指標	就労相談利用者の就職者数	目標値 (H29)	70	人/年	実績値 の推移	H25 30	H26 18	H27 6	H28 1	H29 —				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる	（理由、今後の方向性） ・前橋テルサで実施していた就労相談については実績が上がらないため、事業の見直しを図り、平成28年度で終了とした。 ・この就労相談に代わる事業として、平成29年4月からは新たに開設した「ジョブセンターまえばし」において、キャリアカウンセリング等の相談業務や各種セミナーや講座等の就職支援を行い、利用者を就職に結びつけていく。											
		B 少し遅れている												
	○	C 遅れている												

No	67	大綱	Ⅳ	政策	02	施策	01	事業	01	担当課	にぎわい商業課	主要	○	一般
事業名	中心商店街の魅力向上	目的 (目標)	多くの人々が中心市街地を日常的に訪れ、買い物や余暇を楽しむことができる状況を創出するため、中心商店街の魅力づくりと、空洞化対策の強化を図ります。											
計画上の 測定指標	中心商店街空き店舗数 (27件/H24.7)	目標値 (H29)	17	件	実績値 の推移	H25 26	H26 25	H27 18	H28 16	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	（理由、今後の方向性） ・空き店舗数は年々減少し、計画終了前に目標値以上の実績値を示すことができた。 ・今後は、新たに策定した中心市街地活性化基本計画との整合を図りながら、空洞化の解消とともに新たな魅力の創出や魅力的なまちづくりを推進していく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	68	大綱	Ⅳ	政策	02	施策	01	事業	02	担当課	にぎわい商業課	主要	○	一般
事業名	利便性と回遊性の向上	目的 (目標)	街なかの低未利用地や公共施設、通りなどを効果的に活用し、駅から中心市街地へ至る動線づくりや街なかの回遊性、利便性の向上策を検討・実施します。											
計画上の 測定指標	中心商店街における通行量	目標値 (H29)	24,000	人	実績値 の推移	H25 18,438	H26 —	H27 17,433	H28 —	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・隔年実施している通行量調査において、H29年7月時点での実績値は21,111人と、増加へ転じている。 ・官民連携のまちづくりを進める中で、街なかの低未利用地の活用や魅力あるコンテンツの創造、街なかへのアクセス向上やけやき並木通りの活性化をハード・ソフト両面から取り組んでいく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	69	大綱	Ⅳ	政策	02	施策	02	事業	01	担当課	にぎわい商業課	主要	○	一般
事業名	街なか活性化に向けた仕組みづくり	目的 (目標)	街なかのにぎわい創出に向け、民間主体による活性化推進組織の設置に取り組みます。また、学生等の新たな発想や行動力を活かすための交流の場を提供するとともに、活性化に資する取り組みを支援します											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・街なかに学生が居住し、まちづくりに資する機会を創出してきた。 ・今後は、学生に限らず、街なかで活躍する様々な主体との有機的な連携を模索しながら、官民連携のまちづくりを推進する制度を活用し、まちづくりを進める推進体制を整えていく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	70	大綱	Ⅳ	政策	02	施策	02	事業	03	担当課	にぎわい商業課	主要	○	一般
事業名	街なか文化の充実と発信	目的 (目標)	中心市街地を学習意欲や趣味、知的好奇心などを満足させる魅力的な場所とするため、中心市街地に集積された文化施設や学習施設の更なる利活用を進めるとともに、各施設間の繋がりを強化し、街なか文化の充実と発信を図ります。											
計画上の 測定指標	中心市街地における文化施設等の利用者数	目標値 (H29)	950,000	人	実績値 の推移	H25 788,193	H26 803,840	H27 871,713	H28 894,452	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・各文化施設等の利用者数は年々増加している。アーツ前橋利用者数を含めると、計画終了前に目標値以上の実績値を示すことができた(H25:819,854、H26:867,994、H27:940,479、H28:968,121)。 ・広瀬川河畔を中心に進められる歴史文化遺産を活用したハード・ソフト両面の取組を進めるとともに、各施設との連携や有効活用に向けた環境整備を行いながら、街なか文化を育み、発信していく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	71	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	農林課	主要	○	一般
事業名	6次産業化の推進	目的 (目標)	本市の農林水産物の地産地消と高付加価値化を促進するとともに、経営規模の拡大、所得の向上、及び品質の向上を図るため、農業者による6次産業化を推進します。											
計画上の 測定指標	農業起業家登録者数	目標値 (H29)	38	人	実績値 の推移	H25 35	H26 36	H27 36	H28 36	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・農業起業家への補助制度や各種セミナー等を実施するとともに、農業起業家登録制度の見直しを行うなど、より効果的な事業実施を進めてきた。 ・今後についても、県等の補助制度や、市広報紙などを活用し、6次産業化の更なる推進を図っていききたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	72	大綱													Ⅳ	政策	03	施策	01	事業	02	担当課	農林課		主要	○	一般
事業名		農畜産物のブランド化推進					目的 (目標)		前橋産農畜産物のブランド化に向け、赤城の恵ブランド認証制度の普及を行うとともに、市場や消費者ニーズに応じた付加価値のある高品質な農産物の生産・流通体制づくりと産地化を進めます。また、前橋産農畜産物の販売面において、生産者・消費者が求める消費・販路拡大に繋がる施策を検証し、農業所得の向上に繋がる販売体制づくりを進めます。																		
計画上の 測定指標		赤城の恵ブランド認証品創出数					目標値 (H29)		43		品目		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29				
															37		44		56		62						
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																		
				B 少し遅れている					・平成28年度の海外販促活動では、台湾やマレーシアを新規に追加するなど、各種販促活動は順調に推移している。																		
				C 遅れている					・今後も、認証品を創出し、PR活動を行うことで、市民への認知度向上を図るとともに、首都圏、海外などで各種販促活動を検討し、実施していきたい。																		

No	73	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	01	事業	03	担当課	農林課	主要	○	一般
事業名		新しい農業の推進			目的 (目標)		農業都市としての本市の魅力を最大限に活かすため、農の多面性を活かした農地の有効利用を進め、農業への理解を深める機会を提供します。また、農業体験等を通じた都市住民と農村住民の交流など、様々な人々の交流を促進し、地域の活性化を進めます。							
計画上の 測定指標	①農業体験者数 ②市民農園の面積				目標値 (H29)	①7,300 ②60,000	人 ㎡	実績値 の推移	H25 ①6,929 ②35,815	H26 ①5,357 ②35,815	H27 ①4,796 ②35,955	H28 ①4,852 ②31,849	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)								
		B 少し遅れている				①農業体験 ・JA青年部が同様の事業を行っていることから、サツマイモの苗の植え付け、作文コンクールを平成28年度をもって廃止とした。 ・室沢の棚田は農業体験を継続して実施している。								
		C 遅れている				②市民農園 ・民間委託に向けて調整していく。								

No	74	大綱			Ⅳ	政策	03	施策	02	事業	03	担当課	農林課	主要	○	一般
事業名		農畜産物の販路拡大			目的 (目標)		国内外における産地間競争に対応するため、前橋産農畜産物の消費・販路拡大を推進します。									
計画上の 測定指標	農産物直売所及び JA前橋市売上額			目標値 (H29)	208億6千 万円		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
								193億8千万円	188億3千万円	199億3千万円	203億5千万円					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・市長トップセールス等各種事業を着実に実施することで、販路拡大を推進した。 ・今後も首都圏市場へのトップセール等の事業を継続的に実施するとともに、海外への販路活動についても関係機関と連携して実施していきたい。											
		B 少し遅れている														
		C 遅れている														

No	75	大綱													Ⅳ	政策	03	施策	02	事業	04	担当課	農林課			主要	○	一般
事業名		地産地消の推進					目的 (目標)		地産地消を推進するため、農産物直売所が安全・安心な前橋産農産物の情報発信の拠点として機能し前橋産農産物の消費拡大に繋がるよう、魅力と特色のある農産物直売所づくりを進めます。また、生産者と小売業者のニーズのマッチングが図られるよう、情報交換の場の提供等を支援します。																			
計画上の 測定指標	農産物直売所の売上額						目標値 (H29)	16億7千 万円	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29														
										14億7千万円	14億3千万円	14億9千万円	15億1千万円															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる						(理由、今後の方向性)																				
		B 少し遅れている						・各種支援事業の実施や農産物直売所との連携を図ることで、農産物直売所の売上額は、平成27年度から対前年比上昇に転じている。 ・今後についても、各種直売所の支援と併せて、学校給食に農産物を提供する際の販路整備について各種調整を行い、地産地消を推進していきたい。																				
		C 遅れている																										

No	76	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	03	事業	02	担当課	農業委員会事務局	主要	○	一般
事業名	新規就農者及び農業後継者等の支援			目的 (目標)	新たな農業の担い手となる人材を確保し、育成するため、新規参入者等が就農しやすい環境を整備します。また、新規就農者及び農業後継者が、意欲を持って営農し地域農業の担い手として地域に定着し、農業経営の自立ができるよう各種支援を行います。									
計画上の 測定指標	新規就農者数			目標値 (H29)	25	人	実績値 の推移	H25 19	H26 15	H27 19	H28 21	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A	概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・農林大学校や先進農家への研修、ハローワークと連携した周知活動等により、毎年20人前後の人が新規就農している。 ・今後についても、農業委員、農地利用最適化推進委員、中部農業事務所等関係機関と連携し、地域の担い手となる新規就農者の確保に努め、必要とする情報提供、支援に取り組む。										
		B	少し遅れている											
		C	遅れている											

No	77	大綱Ⅳ政策03施策04事業02担当課農業委員会事務局主要○一般												
事業名		農用地利用集積の推進		目的 (目標)		農業経営基盤強化促進法による農用地の利用権設定を促進し、認定農業者等規模拡大志向農家への集積を図り、農業経営の合理化を進めるとともに、遊休農地の解消と効率的な利用を図るため、農地貸借のあっせん、農地利用集積円滑化事業への支援、農地流動化奨励金の交付、地域人・農地プランに基づく農地集積協力金の交付などを行います。								
計画上の 測定指標	農業の担い手に面的集積される 農地面積			目標値 (H29)	700	ha	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								654	654	654	654			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・農地の利用権設定や農地中間管理事業を活用し、担い手に対する農用地の利用集積が着実に遂行されている。 ・今後も農業従事者が高齢化するなかで、新設の法人や利用権が満了となる法人等に対して、農地中間管理事業を活用した農用地利用集積を推進していく。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	78	大綱Ⅳ政策03施策04事業03担当課農業委員会事務局主要○一般												
事業名		遊休農地の有効活用		目的 (目標)	遊休農地の解消のため、農地利用状況調査を実施し、遊休化した農地所有者に対して、意欲ある担い手をはじめ、一般企業やNPO法人等へ貸し付けるための調整・支援を行います。また、農業の多面性を発揮する新たな農地の活用方法を検討します。									
計画上の 測定指標	遊休農地面積			目標値 (H29)	347	ha	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								366	377	420	241			
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・平成28年度は、遊休農地の調査方法を見直したため、遊休農地の面積が減少した。 ・平成29年7月に農地利用最適化推進委員が委嘱されることから、農業委員、事務局職員が一体となり、農地の借り手を掘り起こし、遊休農地解消事業を推進する。									
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	79	大綱Ⅳ政策03施策04事業04担当課農村整備課主要○一般												
事業名		優良農地の整備		目的 (目標)	農地の生産性向上に向け、土地改良事業を実施する土地改良区や農地の畦畔撤去等の整備を行う農業者の組合等に対し、事業費の一部補助を行い、市内における農地の大区画化を進めるとともに、環境配慮型の道水路の整備を促進します。									
計画上の 測定指標	補助の対象となる農地の面積			目標値 (H29)	90 ha		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								0	0	0	0			
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)									
			B 少し遅れている		・平成28年度は公告・縦覧、本同意の手続きを経て12月に県知事へ事業施行及び土地改良区設立認可の申請を行った。その結果、平成29年3月31日に県知事から計画確定及び認可を受けた。									
			C 遅れている		・平成29年度4月に土地改良区設立総会を行うための準備を予定しており進めることができた。今後も地元の意向を踏まえながら事業推進を図っていく。									

No	80	大綱													Ⅳ	政策	Q4	施策	Q1	事業	Q1	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		赤城山観光の充実					目的 (目標)		地域住民が赤城山の新たな魅力を再認識し、観光資源として県内外に情報発信を行い、地域の活性化を促進します。また、既存施設の適正な維持・管理、改修を行い、訪れるお客様に快適に過ごしていただき、リピーターの増加を図り、入り込み客数に反映するよう繋げていきます。																	
計画上の 測定指標	赤城山総合観光案内所、県立赤城公園ビジターセンター利用者数					目標値 (H29)	160,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										150,000	187,000	190,000	140,000													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																			
		B 少し遅れている					・観光入込数は気象等による影響を受けやすいが、赤城山の観光の目玉となる白樺牧場の利活用について、期間限定の牧場内ツツジ鑑賞ツアーを行い、参加者から好評を得ているので、今後更に秋冬の新たなツアーを検討し集客を狙う。 ・今後は、老朽化した施設等の改善要望を県に行うとともに、除草などを積極的に行い、利用者目線での環境整備を行いたい。また、赤城山ツーリズムの推進のため、DMO組織を支援するとともに、連携した情報発信等を行いたい。																			
		C 遅れている																								

No	81	大綱		Ⅳ	政策	Q4	施策	Q1	事業	Q2	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		都市観光の充実			目的 (目標)		「まちなか」で育まれてきた歴史や文化、風土、そして、そこに住む人たちが伝承してきた技術や温かい「おもてなし」など、他にはない前橋の「まちなか」ならではの魅力（オンリーワン）をつなぎながら、都市観光（まちなか観光）の充実に取り組んでいきます。								
計画上の 測定指標	観光客年間入込数				目標値 (H29)	150,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
									100,000	170,000	346,454	102,785			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている			・大河ドラマ「花燃ゆ」が終了し、また臨江閣の改修工事により観光客の減少となったが、T-1グランプリの見直しなど、新たな取組を導入することで、一定の成果は出ている。										
		C 遅れている			・今後は、まち歩き観光の充実、臨江閣のリニューアルなど県外へのPRを進めるための新たな手法を検討、実施するなど、観光入込客を意識した取組を進める。										

No	82	大綱	Ⅳ	政策	Q4	施策	Q2	事業	Q1	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		前橋観光の積極的なPR			目的 (目標)	赤城山観光と都市観光、そして両者を一体化した数多くの前橋観光タイトルを首都圏をはじめ多くの人々が知り、興味を感じ、そして実際に前橋観光に訪れていただくために積極的なPRを推進していきます。								
計画上の 測定指標	観光キャラバン等実施件数			目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								15	14	16	16			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・首都圏の駅や高速PAなどで観光キャラバンを実施しているが、ころんとや各種イベントでの新たな観光PRも行なっている。									
		C 遅れている			・今後は、効果的な時期と場所を勘案した観光キャラバンの実施を推進するとともに、サロンドG（ぐんまちゃん家）の活用など進めていきたい。また、新たな観光パンフレットの影響度等を調査していきたい。									

No	83	大綱	Ⅳ	政策	04	施策	03	事業	01	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		観光施設・観光情報の充実			目的 (目標)		赤城山など本市が持つ地域の観光資源やホームページを整備、充実することにより、観光客の更なる誘客を図り、地域経済の発展及び地域とのコミュニケーションを推進します。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・新たに「デジタルサイネージ」や「インスタグラム」などSNSを活用し、観光情報の発信に努めた。 ・観光情報の入手方法について、利用者アンケートの実施などでニーズを把握し、効率的な発信手法を研究していきたい。また、デジタルサイネージの有効活用策として、利用を促進させるコンテンツを作成していきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	84	大綱	Ⅳ	政策	04	施策	03	事業	02	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	ホスピタリティの充実	目的 (目標)	既存の観光ボランティアガイドのスキルアップやワンストップサービス実現に向けた観光案内所の整備など、観光関係者のみならず、観光客に接する全ての人が「おもてなし」の雰囲気や環境を整えるとともに、推進体制づくり等に取り組みます。											
計画上の 測定指標	観光ガイド登録者数 (観光ボランティアガイド会員数)	目標値 (H29)	300 (150)	人	実績値 の推移	H25 92 (78)	H26 185 (78)	H27 237 (72)	H28 277 (77)	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・観光ボランティアガイド会員数は増加していないものの、観光ガイド登録者数は市民学芸員及び赤城山環境ガイドの登録者数が伸びていることから順調に増加している。 ・今後は、観光ボランティアガイド会員増に向けた取組のほか、インバウンド対応や観光ガイドのスキルアップなどに努めていきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	85	大綱	Ⅳ	政策	04	施策	04	事業	01	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	地域特性を活かした食によるまちづくり	目的 (目標)	「食」によるまちづくりが、関係者はもとより市内外の人たちから認知されるよう、名物料理創出に向けて活動してきた「TONTONのまち前橋」の取り組みを段階的にレベルアップを図るとともに、定着に向けた仕掛けや仕組みなどを検討・実施していきます。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・T-1グランプリの実施は、市内店舗の豚肉料理開発の意識啓発に繋がっている。 ・今後は、市民への浸透を強化するために、アンケート調査を基に、T-1グランプリ内容と周知方法の充実を図っていききたい。また、平成29年度は新たな事業を実施し、食によるまちづくりを進めていききたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	86	大綱	Ⅳ	政策	04	施策	04	事業	02	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	前橋ブランドの販売促進	目的 (目標)	前橋の名物・名産品、「赤城の恵ブランド認証品」など数ある中で、「前橋ブランド」としてのステータスやブランド力を構築しながら、地元企業をはじめ、多くの民間事業者等が取り扱えるよう販路の拡大につながる仕組みづくり等に取り組んでいます。											
計画上の 測定指標	観光消費額	目標値 (H29)	8,000,000	千円	実績値 の推移	H25 7,273,151 千円	H26 7,326,080 千円	H27 8,051,012 千円	H28 8,202,401 千円	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・イベントでの物産PRや魅力的な商品開発の側面支援を行なった。 ・今後は、H29年4月にリニューアルオープンした前橋駅構内の物産館を最大限に活用、また新たな臨江閣や各種イベントなどへ出展し、更なる観光消費額の増加に向けた取組を進めていきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	87	大綱	Ⅴ	政策	01	施策	01	事業	01	担当課	生涯学習課	主要	○	一般
事業名	地域課題に対応した社会教育の充実	目的 (目標)	地域の特性やニーズを踏まえた講座や環境問題や防災などの課題に対応する講座を開催し、受講者が学んだ成果を地域に還元して生かす「循環型社会」の構築を目指す。特に、家庭教育学級をはじめとする学習機会を提供し、家庭教育力の向上を図るとともに、子育てをサポートする体制を整えることにより、地域における子育て・子育て環境の充実を目指す。											
計画上の 測定指標	出前講座の利用件数	目標値 (H29)	300	件	実績値 の推移	H25 213	H26 266	H27 289	H28 348	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・出前講座については、前年度よりも利用件数及び参加者数ともに大きく増加した。また、公民館職員の事業別研修実績発表会では、地域の代表者等による外部評価を取り入れるなど、内容の見直しを図った。 ・今後は、社会教育事業の充実を一層図るため、地域と協働し、計画的かつ効果的な事業展開を図っていく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	88	大綱	V	政策	O1	施策	O1	事業	O3	担当課	生涯学習課	主要	O	一般
事業名	生涯学習施設の充実	目的 (目標)	幅広い世代の地域住民が集い、いつでも気軽に交流できる居場所としての環境を整え、広く地域づくりや文化振興の拠点として快適に活用できるよう、計画的な施設整備や適正な維持管理を行う。											
計画上の 測定指標	公民館及びコミュニティセンター 利用人数	目標値 (H29)	1,055,000	人	実績値 の推移	H25 1,036,004	H26 1,063,126	H27 1,100,304	H28 1,154,587	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・利用人数は、前年度に比べて増加している。 ・今後の公民館及びコミュニティセンターの整備については、利用者の要望を反映した改修等を進めていくなど、利用者にとって居心地のよい拠点づくりを総合的に進めていきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	89	大綱	V	政策	O1	施策	O2	事業	O1	担当課	図書館	主要	O	一般
事業名	資料・情報の提供と 調査・相談機能の充実	目的 (目標)	市民の多様な学習要望に応えるため、豊富な資料を充実し迅速に提供します。市民と地域の課題解決のため、レファレンス機能をいっそう充実し、市民の暮らしに役立つ図書館サービスを提供します。											
計画上の 測定指標	蔵書数	目標値 (H29)	1,025,000	冊	実績値 の推移	H25 983,761	H26 1,011,135	H27 1,033,140	H28 1,038,867	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・蔵書数は目標値以上を確保した上で、各館の特性を考慮し、資料の更新を図った。 ・今後も公共図書館としての使命を果たせるよう、様々な資料収集を進める。また、オンラインデータベースを周知、活用し、図書館サービスの充実を図っていく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	90	大綱	V	政策	O1	施策	O2	事業	O4	担当課	図書館	主要	O	一般
事業名	図書館施設の充実	目的 (目標)	市民が身近に図書館を利用できるようにするために、図書館本館及び分館を一体的かつ円滑に運営し、施設を良好に管理するとともに、老朽化し手狭となった本館の整備を行い、未設置の地域の分館の整備を行います。											
計画上の 測定指標	図書資料貸出点数	目標値 (H29)	2,644,000	冊	実績値 の推移	H25 2,062,456	H26 2,053,104	H27 2,165,464	H28 2,140,797	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・貸出点数は、前年度を若干下回った。 ・新本館に関しては、引き続き市庁舎周辺整備検討委員会やWGで検討を続ける。あわせて、図書館の在り方などについても研究を重ねる。また、分館の機能を充実し、誰もが身近に図書館を利用できる環境整備を進める。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	91	大綱	V	政策	O1	施策	O3	事業	O1	担当課	青少年課	主要	O	一般
事業名	地域における 青少年健全育成活動の推進	目的 (目標)	家庭、地域、学校のそれぞれの役割と責任の自覚と相互の連携協力のもと、前橋市青少年健全育成計画「いきいき前橋っ子 はぐくみプラン」の周知・活用に取り組むとともに、青少年健全育成会、子ども会育成会等の青少年育成団体に對する指導・支援を行うことにより、地域における健全育成活動を推進し、人間性豊かな青少年の育成を目指します。											
計画上の 測定指標	のびゆくこどものつどい 総参加人数	目標値 (H29)	35,000	人	実績値 の推移	H25 35,048	H26 35,576	H27 38,007	H28 39,968	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・参加人数も前年度から増加し、「地域の子どもは地域で育てる」気運を醸成することができた。 ・地域における世代間交流や子どもの主体性を育む場として定着しており、引き続き取組を進めていく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	92	大綱													V	政策	01	施策	03	事業	02	担当課	青少年課	主要	○	一般
事業名		非行防止・被害防止活動の充実					目的 (目標)		街頭補導、店舗巡回や警察、児童相談所、プラザ相談室等関係機関との適切な連携をとって青少年の非行防止と被害防止に努め、健全育成を図ります。																	
計画上の 測定指標	街頭補導活動における声かけ数					目標値 (H29)	4,200 人		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										3,809	3,275	3,753	3,506													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																			
		B 少し遅れている					・学校及び地域からの不審者情報や街頭補導活動時における声かけ情報を活用しながら効果的な街頭補導に努めた。																			
		C 遅れている					・今後は、インターネットに関連する問題行動の未然防止に向けて、保護者や有識者を交えた対策会議を開催するなど、関係各所で連携を図りながら非行防止や被害防止に向けた取組を進めていく。																			

No	93	大綱													V	政策	01	施策	03	事業	03	担当課	青少年課			主要	○	一般
事業名		児童文化センターの活用と機能充実										目的 (目標)		青少年の科学及び文化芸術に対する理解と関心を高め、多様な体験活動の充実を図ることにより、自主・自律の精神に満ちた人間性豊かな青少年の育成を目指します。														
計画上の 測定指標	児童文化センター利用者数										目標値 (H29)	220,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29									
														458,996	445,403	472,833	456,023											
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・各種教室やクラブ活動、ボランティアによるイベント、オリジナルプラネタリウム番組制作などの充実により、利用者数は高水準で継続できている。 ・今後も事業内容を積極的に改善しようとする姿勢を継続し、学校や関係団体との連携を深めながら多様な体験活動の場を提供していきたい。																
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	94	大綱													V	政策	02	施策	01	事業	01	担当課	学校教育課	主要	○	一般
事業名		学校経営の改善・充実					目的 (目標)		まえばし学校教育充実指針の取組を基に、学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校評価等の充実・改善を図り、学校力を高めます。また、地域や学校の実態に応じた特色ある学校づくりを推進します。																	
計画上の 測定指標	学校課題の改善に関する保護者等アンケート (4段階評価で上位1位の割合)					目標値 (H29)		75 %		実績値 の推移		H25 64		H26 69		H27 71		H28 76		H29						
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																								
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・まえばし学校教育充実指針の取組を基に、学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制の充実が図られており、学校評価制度、特色ある学校づくりの推進、教職員の負担の軽減が図られている。 ・今後も学校が持つ課題の把握に努めるとともに、次期学習指導要領の趣旨を踏まえ指針の見直しを行い、適切な学校経営を進めていきたい。																	
				B 少し遅れている																						
				C 遅れている																						

No	95	大綱													V	政策	02	施策	01	事業	03	担当課	教育施設課	主要	○	一般
事業名		安全で安心な 学校（園）施設整備の推進					目的 （目標）		児童生徒が安全に安心して学ぶことのできる教育環境をつくるため、老朽化した校舎、体育館及びプールの改築、並びに校舎及びトイレの大規模改造を予算の平準化を含めた長寿命化計画に基づき実施します。																	
計画上の 測定指標	小中学校校舎・体育館の耐震化率					目標値 (H29)	98.3 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										90.6	93.4	97.8	100.0													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																			
		B 少し遅れている					・ 計画的に整備を進めた結果、小中学校校舎及び体育館の耐震化率について、計画最終年度（H29年度末）を待たずに目標が達成できた。																			
		C 遅れている					・ 今後は、非構造部材の耐震化を図るため、つり天井の撤去を計画的に進めていく。																			

No	96	大綱	V	政策	O2	施策	O1	事業	O6	担当課	学校教育課	主要	O	一般
事業名	地域との連携・人材活用	目的 (目標)	地域の人材を積極的に活用するなど、学校と地域社会、関係機関等との連携を深めるとともに、各学校で展開されている教育活動を地域へ発信し、開かれた学校づくりを一層推進します。											
計画上の 測定指標	学校支援ボランティアの人数の満足度に関する学校へのアンケート (5段階評価で上位2位以上の割合)	目標値 (H29)	85	%	実績値 の推移	H25 87	H26 87	H27 77	H28 84	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・地域のサポーターとの関わりの中で、子どもたちが自分の力を伸ばすことのできる環境づくりが進められている。 ・中学生を対象とした地域寺子屋事業は、学力向上のみでなく、コミュニケーションを通して人間性などを育てる事業であるため、指導者や地域のサポーターを増員するとともに新たな地域を3箇所増やし、市内10箇所に拡大し支援を進めていきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	97	大綱	V	政策	O2	施策	O3	事業	O1	担当課	学校教育課	主要	O	一般
事業名	基礎・基本の確実な定着	目的 (目標)	各小中学校の活用構想や学校課題に沿って、適切にマイタウンティーチャーを配置する。また、児童生徒の基礎学力を客観的に捉え個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。											
計画上の 測定指標	(小中学校の) 授業内容の理解に関する児童生徒アンケート (4段階評価で上位2位以上の割合)	目標値 (H29)	90	%	実績値 の推移	H25 89	H26 89	H27 92	H28 90	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・基礎学力検査等の実施によりこれまでの経年変化の成果や課題結果から、各学校で課題を見出し、授業改善の参考資料として活用している。また、指導主事による学校訪問の際に授業改善の具体的な取組について指導・助言を行っている。 ・平成29年度も同様に実施し、児童生徒の習得状況を把握していきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	98	大綱	V	政策	O2	施策	O3	事業	O3	担当課	青少年課	主要	O	一般
事業名	不登校・いじめ対策の充実	目的 (目標)	学校支援員やオーブンドアサポーター等を組織的に活用するとともに、適応指導教室を効果的に活用することにより、不登校対策の充実を図ります。いじめ解消に向けた指導や相談体制の整備等いじめ対策の充実を図る。さらに、スクールソーシャルワーカーや学校支援員等の組織的な活用や関係機関との連携等により、いじめ問題に迅速かつ的確に対応して早期解消に努めます。											
計画上の 測定指標	不登校児童生徒の割合(出現率)	目標値 (H29)	0.20 (小) 2.40 (中)	%	実績値 の推移	H25 0.26 (小) 2.63 (中)	H26 0.25 (小) 2.30 (中)	H27 0.33 (小) 2.38 (中)	H28 0.27 (小) 2.69 (中)	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・スクールアシスタントやオーブンドアサポーターの組織的な活用により、不登校対策の充実が図れている。 ・今後はスクールカウンセラーなどの活用を進め、多面的な児童生徒理解に基づいた支援を充実させていくとともに、引き続きいじめの早期解消に向け、迅速な対応に努めていく。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	99	大綱	V	政策	O2	施策	O3	事業	O4	担当課	学校教育課	主要	O	一般
事業名	特別支援教育の推進	目的 (目標)	特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室で学ぶ児童生徒とともに、通常の学級に在籍している学習が困難な児童生徒に対しての教育の充実を図る。											
計画上の 測定指標	特別支援教育の推進についての状況調査4項目5段階評価の合計点が15点以上の学校の割合	目標値 (H29)	80	%	実績値 の推移	H25 74	H26 82	H27 75	H28 73	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・特別支援教育の資質向上に向けて研修会や教頭会における情報共有など体制づくりを継続して行っている。 ・特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にある中で人材確保と人件費増の問題もあるが、対象となる児童生徒に対する教育の充実に向けた検討を引き続き進めていきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	100	大綱													V	政策	02	施策	03	事業	05	担当課	学校教育課	主要	○	一般
事業名		現代の教育ニーズに応じた多様な教育の推進					目的 (目標)		環境保全、国際化社会、情報化社会やキャリア発達など、子どもたちを取り巻く現代の社会的な課題の解決に向けて、自ら考え自ら行動し、遅く生きていく力を育てる。																	
計画上の 測定指標	環境教育を通して、環境保全への取組意識が高まったとする学校の割合					目標値 (H29)	95 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										93	94	94	95													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・各学校の特色を生かすとともに、児童文化センターや環境部等の関係機関との連携により、体験や体感できる環境教育が行われている。 ・キャリア教育全体を考えるキャリア教育推進協議会や地域・企業と連携した職場体験の充実を図るキャリアスタートウィーク推進協議会を一層活発化させるなど、生きる力を育む取組を進めていきたい。																			
		B 少し遅れている																								
		C 遅れている																								

No	101	大綱													V	政策	02	施策	05	事業	02	担当課	政策推進課			主要	○	一般
事業名		高等教育機関の活用推進										目的 (目標)		大学を始めとする高等教育機関の知の集積を地域課題の解決や地域の人材育成等へ活用するため、各機関と地域・民間事業者・行政のネットワーク形成を推進し、各機関の研究活動・研究水準の向上と地域社会・産業界の活性化を促進します。														
計画上の 測定指標	前橋工科大学による外部研究費導入件数										目標値 (H29)	25 件		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29									
															42	52	75	84										
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・長期インターンシップ受入数や外部研究費導入件数は年々増加しており、概ね順調に進んでいる。 ・今後も現在の取組を発展・継続していくことにより、地域人材の育成を加速化させ、地域社会・産業界の活性化を促進していきたい。																
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	102	大綱													V	政策	O3	施策	O1	事業	O1	担当課	スポーツ課			主要	O	一般
事業名		生涯スポーツの普及・振興										目的 (目標)		生涯スポーツ人口の増加と、市民の健康と体力増進を図るため、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、生涯スポーツに触れる機会を充実し市民スポーツの普及・振興を図ります。														
計画上の 測定指標	前橋市軽スポーツフェスティバル満足度 (4段階評価の最上位)										目標値 (H29)	75 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29									
															48.5	73	73	73										
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・4段階評価（大いに満足、満足、不満、大いに不満）の利用者アンケートから概ね良好の評価を得た。 ・スポーツ推進委員会で、ニュースポーツとして、誰もが楽しめるミニバレーボール競技の普及に努め、平成30年1月14日の生涯スポーツ大会に向け取り組んでいる。																
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	103	大綱													V	政策	03	施策	01	事業	03	担当課	スポーツ課			主要	○	一般
事業名		スポーツ施設整備					目的 (目標)		安全で快適にスポーツに親しめる施設整備を進めるとともに、長寿命化計画に基づき大規模な大会の開催にも対応できる施設の改修などを行います。																			
計画上の 測定指標	スポーツ施設利用者の満足度 (４段階評価のうち上位２位以上の合計)					目標値 (H29)	90 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29														
										86	88	91	91															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																					
		B 少し遅れている					・ ４段階評価（大いに満足、満足、不満、大いに不満）の利用者アンケートから概ね良好の評価を得た。																					
		C 遅れている					・ 全体的に施設が老朽化していることから、利用者の安全性を確保するための改修工事等を効果的に進めていくこととする。																					

No	104	大綱	V	政策	03	施策	02	事業	01	担当課	スポーツ課	主要	○	一般
事業名		スポーツ大会開催支援			目的 (目標)		市民がスポーツ大会への参加、あるいは観たり、応援する楽しさを味わい、スポーツへの関心を高めることができるよう、各種大会の開催支援を行い、スポーツの普及振興を図ります。							
計画上の 測定指標	全国規模のスポーツ大会開催数			目標値 (H29)	23	回	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								11	11	11	20			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・前橋スポーツコミッションを中心に大会の誘致や財政支援を行っており大会数を順調に伸ばしている。 ・引き続き支援を行い、本市のスポーツ振興と経済の活性化を図りたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	105	大綱													V	政策	03	施策	02	事業	02	担当課	スポーツ課	主要	○	一般
事業名		地域貢献プロスポーツの支援					目的 (目標)		ザスバ草津等プロスポーツチームが行う地域貢献活動は、地域の一体化の形成、スポーツ振興、経済効果、イメージアップなど多様な効果があるため、さらなる地域貢献活動を促進するにあたり様々な支援を行います。また、チームと小中学校が連携する機会を増やし、選手と市民が交流する機会を創出することで、市民意識の醸成を図りながら集客につなげ本市の活性化を図ります。																	
計画上の 測定指標	プロスポーツチームが行う1年間の 地域貢献活動事業日数（3チーム）					目標値 (H29)	30	回	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										24	17	22	38													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・目標値を達成しており、プロチームとして地域貢献を自主的に行ってきていることが伺える。 ・チームの設立から当分の間が経っており、プロスポーツチームが自立して地域貢献を実施して欲しいことから、支援の廃止を検討している。																			
		B 少し遅れている																								
		C 遅れている																								

No	106	大綱													V	政策	04	施策	01	事業	01	担当課	文化国際課	主要	○	一般
事業名		アーツ前橋の運営					目的 (目標)		多様で質の高い芸術文化を推進するとともに、新たな前橋文化を育むため、次世代に向けた芸術文化の拠点施設であるアーツ前橋を運営します。																	
計画上の 測定指標	アーツ前橋の年間入館者数					目標値 (H29)	100,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										36,446 (5ヶ月間)	70,168	77,301	84,673													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																			
		B 少し遅れている					・秋の展覧会を言葉をテーマに文学館との共同開催とすることにより、美術のみならず、文学に関心のある人の来館を促すなど、新たな客層の確保に努めている。また、夏の展覧会は収蔵作品を中心とした展示を予定している。																			
		C 遅れている					・今後は、まちなかのイベントを民間に委託することにより、広報力、集客力のアップを目指す。																			

No	107	大綱	V	政策	04	施策	02	事業	01	担当課	文化国際課	主要	○	一般
事業名		芸術文化事業の推進		目的 (目標)		市民の文化芸術活動振興を図るため、各種団体が活動成果を発表できるよう、文化芸術事業を実施する。また、本市の文化芸術の振興に関する基本理念と方向性を明確にする。								
計画上の 測定指標	文化芸術事業への来場者数			目標値 (H29)	70,000	人	実績値 の推移	H25 63,550	H26 81,297	H27 70,916	H28 65,438	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・H28は、市文の耐震工事のため実績の減少が見られるが、文学館のハード・ソフト両面の充実により大幅に来場者が増加している。									
		C 遅れている			・今後は、市民文化会館や文学館それぞれの文化振興拠点としての環境整備と機能強化を継続して推進する。									

No	108	大綱													V	政策	04	施策	02	事業	02	担当課	文化国際課			主要	○	一般
事業名		萩原朔太郎を核とした 芸術文化の推進					目的 (目標)		萩原朔太郎を核とした、萩原朔太郎賞や朔太郎音楽祭（マンドリンフェスタ）など、次世代の詩人発掘・育成に向けた「若い芽のポエム」のなど、郷土が生んだ詩人萩原朔太郎を通じて、前橋市独自の文化芸術イベントを、全国に向け積極的に発信します。																			
計画上の 測定指標		若い芽のポエム応募数					目標値 (H29)		23,000 件		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29							
													19,862		19,189		19,135		13,626									
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
		○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・萩原朔太郎賞や朔太郎音楽祭については、例年どおり順調に進んでいる。 ・若い芽のポエムについては、28年度の実施で20回目の節目を迎えたことで、29年度はコンクールを実施せず、記念作品集の制作を行い、今後については質や表現を重視するような新たな手法で、詩文化に触れられる機会を作っていく。																				
			B 少し遅れている																									
			C 遅れている																									

No	109	大綱													V	政策	04	施策	03	事業	01	担当課	文化財保護課	主要	○	一般
事業名		歴史学習施設の充実					目的 (目標)		市民の文化財への親しみや理解を深めるため、また、文化財を後世に的確に伝えるため、日本の伝統文化・伝統技術などの一端にふれることのできる場として、歴史学習施設の充実を図ります。																	
計画上の 測定指標		所管施設（蚕糸記念館、大室公園民家園、粕川歴史民俗資料館、臨江閣、阿久沢家住宅、総社歴史資料館）の来館者数					目標値 (H29)		45,000 人		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29					
													33,138		60,956		104,272		22,730							
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																								
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・臨江閣休館の影響により全体の来館者数は減少したが、総社歴史資料館の来館者数はオープン半年で前年比2.5倍を記録した。 ・今後、ICT技術を活用したコンテンツ等を導入した総社歴史資料館をはじめ、リニューアルオープンする臨江閣といった施設を中心に、ソフト事業のさらなる充実を図っていきたい。																	
				B 少し遅れている																						
				C 遅れている																						

No	110	大綱	V	政策	04	施策	03	事業	03	担当課	文化財保護課	主要	○	一般
事業名		重要史跡の保存			目的 (目標)		市民の知的欲求を満たし、新たな前橋の魅力の発見に繋げるため、埋蔵文化財を含めた各種の文化財についての調査研究を進めます。また、重要史跡等を市民全体の宝として後世に的確に伝えていくことを目的として、指定による保護の拡大や保存と活用のための保存活用計画を策定して整備を行います。							
計画上の 測定指標	国指定の史跡等における保存活用計画策定率			目標値 (H29)	38.5	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								7.7	7.7	7.7	15.4			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・岩神の飛石（国指定天然記念物）に係る保存活用計画を策定したことで、今後は、国の補助金等を有効に活用しながら史跡本体の施設整備に努めていきたい。 ・また、見直したスケジュールに従い、H29年度に国指定史跡女堀の保存活用計画の策定に着手し、H30年度頃の完成を目指していきたい。									
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	111	大綱 VI 政策 01 施策 01 事業 01 担当課 生活課 主要 ○ 一般												
事業名		地域づくり活動の促進			目的 (目標)		地域の支え合いを深めながら、それぞれの特色や工夫を活かし、身近な課題を主体的に解決していけるよう、市民力・地域力を発揮できる仕組みづくりを進めます。							
計画上の 測定指標	地域づくり協議会の整備数			目標値 (H29)	24	組織	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								22	22	23	23			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・城東地区の協議会設置については現時点で未定だが、推進地区指定に向け丁寧な対応をしている状況である。 ・今後も引き続き、自治会連合会を中心に設置へ向けた調整を地道に進める。									
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	112	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	01	事業	02	担当課	生活課	主要	○	一般
事業名	活力ある市民活動の促進	目的 (目標)	市民協働のまちづくりを目指し、NPO、ボランティア、地域活動団体など、市民活動全体の大きな繋がりパートナーシップ創出による様々な地域課題の解決を図ります。											
計画上の 測定指標	市民活動支援センター 利用登録団体数	目標値 (H29)	250	団体	実績値 の推移	H25 230	H26 256	H27 291	H28 306	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・登録団体数は目標以上に増加しており、「分野別活動団体交流会」や「つながる3分プロジェクト」に加えて、「Mサボふれいあい祭り」を開催し、市民や企業が協働できるきっかけづくりを行った。 ・今後も引き続き、NPOや市民団体が繋がる機会を創出し、中間支援機関としてのコーディネート機能を発揮していく。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	113	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	02	事業	02	担当課	市政発信課	主要	○	一般
事業名	市政情報の積極的な発信	目的 (目標)	広報紙やラジオ、インターネットホームページなど、それぞれの広報媒体で特性を活かし、限られた予算の中で、効果的・効率的広報広聴活動を展開し、市民との信頼関係の構築をするとともに、市外の方に対しても「住みたい」「訪れたい」「ビジネスをしたい」と思ってもらえるような魅力発信に取り組む。											
計画上の 測定指標	前橋市ホームページ全体の 訪問者数	目標値 (H29)	2,005,000	人/年	実績値 の推移	H25 3,119,911	H26 3,764,342	H27 3,915,756	H28 3,607,153	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・平成28年度のホームページ訪問者数は、観光情報が観光コンベンション協会へ移った影響で減少したものの、目標値を上回っている。 ・今後は、スマートフォン対応やウェブアクセシビリティの向上（誰もが使いやすいホームページづくり）、災害等緊急時の対応力向上などを図るため、平成30年度を目標にホームページ関連システム（CMS）の更新を実施することとしたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	114	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	02	事業	03	担当課	市政発信課	主要	○	一般
事業名	市民の声の的確な把握	目的 (目標)	市民ニーズや地域の課題を把握し、市政に反映させていきます。また、「市長への手紙」などで寄せられた意見・提言に対しては、迅速かつ丁寧に対応し、市民の信頼を確保するとともに、施策展開に活用します。											
計画上の 測定指標	市民提案推進システムにより、 市民からの提案を実現させた件数	目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25 13	H26 8	H27 6	H28 7	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・測定指標については目標値に達していないが、内容的には充実してきている。事務効率の向上等に向け、建設的な意見がもらえるよう取組を進めている。 ・引き続き制度周知等を強化し、市民と一体となった課題解決に努めていきたい。また、市民アンケートについては、より意義のあるものにするためにも関係部署と連携し、実施時期や内容について検討していきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	115	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	03	事業	02	担当課	生活課	主要	○	一般
事業名	男女共同参画の推進	目的 (目標)	男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画基本計画に基づき、各種セミナーの開催や情報誌の発行、相談事業等を実施します。また、ドメスティック・バイオレンス（DV）の防止と被害者への支援を推進するため、DV防止法に基づく基本計画の策定を検討します。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・男女共同参画基本計画に基づく施策は、指標に基づく目標値に向けて着実に実施することが出来ている。 ・平成29年度は、社会の変化を踏まえて男女共同参画基本計画の見直しを行なうなど、引き続き、男女共同参画の推進に努めていきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	116	大綱	Ⅵ	政策	O2	施策	O1	事業	O1	担当課	行政管理課	主要	O	一般
事業名	業務改善・改革の推進				目的 (目標)	効果的な行政運営を推進するため、事務改善や事業見直しを進める仕組みとして、事務改善事例発表会や事業総点検などを実施します。また、行財政改革推進計画に基づき、行政運営の合理化や効率化を目指した新たな行財政改革に積極的に取組みます。								
計画上の 測定指標	事務改善事例数				目標値 (H29)	100	件/年	実績値 の推移	H25 96	H26 5	H27 5	H28 114	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・事務の簡素化、経費削減、効率化等の視点から、各課から事務改善事例の募集を行い、114件(H26:23件、H27:37件、H28:54件)の事例報告があった。また、事務改善事例発表会を開催し、事例の庁内周知を行った。 ・引き続き、行財政改革推進計画に基づき、事務改善の推進等を進めていく。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	117	大綱	Ⅵ	政策	O2	施策	O1	事業	O3	担当課	行政管理課	主要	O	一般
事業名	民間活力を活用した行政活動の促進				目的 (目標)	民間事業者等の専門的なノウハウと技術を積極的に活用することで、市民サービスの向上と行政コスト削減を図るため、全国自治体の事例等を踏まえて行政サービスのあり方を検討するとともに、民間活力活用に関する方針を定め、より幅広い視点で公共事業の民間委託化を検討・推進します。								
計画上の 測定指標	新たな民間委託の実施件数				目標値 (H29)	5	件	実績値 の推移	H25 0	H26 1	H27 1	H28 2	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・西部共同調理場の調理業務と斎場の炉裏業務を民間委託化を実施した。 ・今後は、税証明窓口・市民課証明交付窓口・職員研修業務について、民間事業者の提案等を勘案しつつ、コスト状況及び委託によるメリット・デメリットを検討し、委託実施の可否を判断する。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	118	大綱	Ⅵ	政策	O2	施策	O1	事業	O5	担当課	職員課	主要	O	一般
事業名	信頼される市役所づくり				目的 (目標)	人材育成基本方針により、職位に応じて求められる業務遂行能力を習得するとともに、自ら考え行動できる職員になれるように育成します。また、コンプライアンス行動指針に基づき、職員一人ひとりが法令遵守を理解するとともに組織としての徹底を図ります。								
計画上の 測定指標	—				目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・職位別の役割の認識を深めるとともに基本的な能力の向上を図った。 ・今後も引き続き、業務改善意識及び業務遂行力の強化、組織の活性化を推進するため、所属内での職内研修(OJT)の体制づくりを支援する。 また、法令遵守の理解に向けて、階層別研修や全庁掲示板を通じて服務規律の確保等について周知し、職員意識の向上を図る。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	119	大綱	Ⅵ	政策	O2	施策	O2	事業	O1	担当課	資産経営課	主要	O	一般
事業名	公共施設管理の合理化・効率化				目的 (目標)	将来的な行政ニーズを的確に把握し、人口減少、人口構成の変化に応じた真に必要な公共施設を適切に管理運営するとともに、市有施設の効率のかつ効果的な合理化を推進することにより、持続可能な財政運営を図ります。								
計画上の 測定指標	公共施設の延べ床面積及び敷地面積の合計				目標値 (H29)	5,913,107	m ² 以下	実績値 の推移	H25 5,813,875	H26 5,904,883	H27 5,923,711	H28 5,934,424	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・前工団及び土地開発公社の解散に伴う承継財産の影響により目標値を超過したが、公共施設管理については、段階的な分析で方向性を整理する施設評価に着手し、予防保全計画の本格運用へ向けた試行を行った。また、施設点検マニュアルを策定して施設所管課による点検を実施したほか、公共事業評価の概要を作成して周知を図るなど、合理化・効率化に向けた取組が着実に進んでいる。 ・今後は、市有施設の効果的な合理化へ向けた取組を更に進めるとともに、公共事業評価の適切な運用を図っていきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	120	大綱	Ⅵ	政策	02	施策	02	事業	02	担当課	資産経営課	主要	○	一般
事業名	市有財産の有効活用	目的 (目標)	公有財産を適正に維持管理するとともに、有効な利活用の検討を行います。市として利活用の見込のない土地については、公募や入札により売却し、財源の確保を図ります。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・普通財産の適切な管理と売却の促進については、売却の可能性の高い土地の入札等を実施して売却に努め、188百万円の歳入となった。また、グリーンドーム(ESCO事業)、市庁舎周辺整備(議会機能の移転検証等)、前工跡地(商業施設のオープン)、前橋工大(実験棟工事の着手)とそれぞれ取り組んでいる。 ・今後も市有財産の有効活用を図るとともに、不要な財産については売却等を基本に整理していく。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	121	大綱	Ⅵ	政策	02	施策	03	事業	02	担当課	収納課	主要	○	一般
事業名	安定的な財源確保	目的 (目標)	財政の健全化と市民負担の公平性を確保するため、市税の自主納付の促進と納期内納付の促進に努めます。											
計画上の 測定指標	①一般税現年度収納率 ②市税の督促状送付件数	目標値 (H29)	①99.1 % ②200,000 通	実績値 の推移	H25 ①99.3 ②223,077	H26 ①99.4 ②212,896	H27 ①99.6 ②203,597	H28 ①99.5 ②199,848	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・平成29年度からの国保税口座振替原則化、コールセンターによる夜間催告開始等、自主納付の促進に取り組んでいる。 ・各指標は目標値を達成しているものの、更なる向上を目指し、引き続き公平・公正で効果的な徴収により、財源確保に努める。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	122	大綱	Ⅵ	政策	02	施策	04	事業	02	担当課	政策推進課	主要	○	一般
事業名	トップマネジメント機能の強化	目的 (目標)	ますます多様化・複雑化する地域の課題やニーズに対して、全市的・戦略的な視点を持って迅速かつ効果的に対応するため、最上層部による政策決定を中心としたトップマネジメント機能の強化を図ります。											
計画上の 測定指標	主要施策の目標達成率	目標値 (H29)	100 %	実績値 の推移	H25 84	H26 82	H27 89	H28 90.4	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・H28については、当初予算編成の財務部課長審査の中で行政評価等を実施し、主要施策の進捗確認を行うことにより、事務効率の向上や目標達成に向けた協議を行った。 ・職員の事務負担の軽減等を目的に、今年度は各課から事業の実績と自己評価結果を報告いただき、政策推進課が取りまとめる方式をとったが、引き続き目標達成に向けた進捗管理に努めていきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	123	大綱	Ⅵ	政策	02	施策	04	事業	03	担当課	政策推進課	主要	○	一般
事業名	周辺都市との連携強化	目的 (目標)	本市の都市機能の向上と活性化を図るため、本県の2大都市である前橋・高崎の連携だけでなく、県内外の主要都市との連携を推進し、市民サービスの向上と行財政運営の一層の効率化を目指します。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・高崎まつりへの市内団体参加や吉岡町との図柄入り前橋ナンバープレートの導入に向けた取組等、他都市と連携し市民サービスの向上に資する事業を実施した。 ・今後も、県内外の主要都市との連携を推進・強化していくことにより、市民サービスの向上等に活かしていきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	124	大綱													Ⅵ	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	情報政策課			主要	○	一般
事業名		行政手続きの電子化推進					目的 (目標)		市民に利便性の高い行政サービスを提供するため、電子申請・届出システムの拡充等、各種行政手続きの電子化を推進します。また、入札・契約における透明性、公正性、競争性の向上、入札参加者の負担軽減及び事務の効率化を図るため、電子入札に係るシステムの安定運用及び適用対象の拡大に取り組みます。																			
計画上の 測定指標		①オンライン化された行政手続きの利用 件数 ②物品・役務業務の電子入札の実施品目					目標値 (H29)		①251,000 ②25 件 品目		実績値 の推移		H25 ①315,772 ②21		H26 ①323,650 ②22		H27 ①402,001 ②22		H28 ①446,368 ②22		H29							
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・オンライン化された行政手続きの利用件数については増加で推移しており、目標値も達成できている。 ・今後も市民に利便性の高い行政サービスを提供するため、電子申請・届出システムの拡充等、各種行政手続きの電子化を推進する。																			
				B 少し遅れている																								
				C 遅れている																								

No	125	大綱													Ⅵ	政策	03	施策	01	事業	02	担当課	情報政策課			主要	○	一般
事業名		ICTを活用した改革の推進										目的 (目標)		各種行政施策の具現化を図っていく中で、ICTを効果的に活用し、行政サービスの充実や、業務改革の推進に努めていきます。市民公開版GISの構築や、国民ID制度（マイナンバー）への対応等に積極的に取り組みながら、ICTを活用したまちづくりを推進します。														
計画上の 測定指標	市民公開版GISアクセス数										目標値 (H29)	30,000 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29										
														9,147 (1か月)	56,757	55,981	60,581											
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・市民公開版GISアクセス数については増加で推移しており、目標値も達成できている。 ・今後も掲載地図の拡充と安定的稼働を維持し、行政サービスの充実を図る。																
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										